

令和5年（2023年）版

事業概要



公益財団法人 広島原爆障害対策協議会



# 目 次

## I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目 的 .....	1
2 事 業 .....	1
3 沿 革 .....	1

## II 組 織

1 組織図 .....	8
2 役員・評議員 .....	8
3 職員 .....	9

## III 施 設 .....

10

## IV 令和5年度事業計画

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1） .....	11
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1） .....	12
3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2） .....	12
4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1） .....	12
5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3） .....	14
6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業） .....	14
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力 .....	15

## V 令和5年度予算 .....

16

## VI 令和4年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断 .....	17
ア 被爆者一般・精密検査の実施 .....	17
イ 令和4年度被爆者一般・精密検査実施状況 .....	19
ウ 被爆者がん検診等の実施 .....	24
エ 令和3年度被爆者がん検診等実施状況 .....	26
オ 原爆被爆二世健康診断の実施 .....	33
カ 健康管理の推進 .....	34
キ 健康診断医療機器等の整備 .....	34
ク 被爆者健康管理資料の整備 .....	34
ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助 .....	35
(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等	
ア 健康診査等の実施 .....	36
イ 令和4年度健康診査実施状況 .....	37

ウ 令和3年度がん検診等実施状況	38
エ 健康管理資料の整備	47
(3) 本協議会で発見した悪性新生物症例	48
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1) 調査研究の継続実施	50
(2) 文献の収集	50
(3) 原子爆弾後障害研究会の開催	50
3 被爆者の援護福祉事業	
(1) 被爆者相談	51
(2) 被爆者の援護措置	51
4 広島市健康づくりセンターの管理運営事業	52
(1) 健康教育事業	52
(2) 子育て支援事業	53
5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業	54
6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7 将来構想検討委員会の設置・運営	55
8 公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会の開催	55
9 令和4年研究業績	56

## Ⅶ 資 料

1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）	58
2 年賀寄附金配分金による実施事業	60
3 日本自転車振興会補助金による実施事業	61
4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	61
5 広島県補助金による実施事業	62
6 広島市補助金による実施事業	63
7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金	64
8 全国から寄せられた寄付金	66
9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品	70
10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	71
11 職員	72

# I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

## 1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び原爆被爆者の健康管理の対策並びに原爆被爆者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

## 2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆被爆者の障害及び健康管理に関する研究
- (3) 原爆被爆者の生活・健康・医療に関する相談及び原爆被爆者に対する援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの運営管理
- (5) 原爆被爆者の健康診断及び住民の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

## 3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始、昭和 31 年 4 月には「財団法人広島原爆障害対策協議会」に改組し、被爆者の健康診断、健康管理に関する調査研究、援護に取り組んできた。

平成元年 9 月、「広島市総合健康センター」への移転後は、一般市民を対象とする健康診査や健康増進事業、健康教育事業を加え、被爆者をはじめ全ての市民の健康の維持・増進、被爆者の福祉向上のために各種事業を実施している。平成 24 年 4 月には、広島県知事から公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行した。

---

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定

---

---

昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊
昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃出張検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

---

---

昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X線透視撮影台及び CR 用光ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コルターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診断の集団健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)を開始

---

- 
- 8月 磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
- 平成3年3月 夜間健診を中止
- 4月 被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
- 6月 第32回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 X線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
- 平成4年4月 被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
- 8月 自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 10月 国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
- 11月 老人保健法による大腸がん検診を開始
- 平成5年4月 被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
- 6月 第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
- 平成6年4月 事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
- 9月 自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
- 平成7年4月 被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 5月 原爆被爆50周年記念特別講演会を開催
- 第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 6月 内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
- 8月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 10月 市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 平成8年4月 老人保健法による肺がん集団検診を開始
- 7月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 8月 既設MRI装置をバージョンアップ
- 平成9年4月 市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
- 6月 第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7月 X線骨密度測定装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
- 平成10年8月 糖尿病予防対策事業を開始
- 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成
- コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
- 10月 C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
- 平成11年6月 第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9月 DRシステムX線テレビ装置を整備
- 平成12年9月 超音波診断装置を更新整備
- 平成13年1月 MRI装置を更新整備
- 6月 第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 平成14年3月 デジタル超音波診断装置を更新整備
- 7月 自動血球計算装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
-

- 
- 平成 15 年 4 月 市民の C 型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)に B 型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
- 6 月 第 44 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 内視鏡検査システムを更新整備
- 平成 16 年 1 月 乳房 X 線撮影装置を更新整備
- CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
- 4 月 第二次 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備
- 8 月 全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
- 平成 17 年 6 月 第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8 月 総合健診電算システムを更新整備
- 12 月 乳房 X 線撮影装置を整備
- 12 月 医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
- 平成 18 年 3 月 職業補導事業を廃止
- 4 月 マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始
- 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
- 9 月 デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 10 月 被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
- 12 月 全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1号車)
- 平成 19 年 1 月 X線骨密度測定装置更新整備
- 6 月 第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 X線 CT 撮影装置整備
- 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
- 平成 20 年 5 月 特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
- 8 月 超音波診断装置更新整備
- 11 月 MRI 装置のアップグレード整備
- 平成 21 年 2 月 医用画像情報システム更新整備
- 3 月 デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 1・第 3 日曜日)を午前のみの実施とし、第 3 日曜日に胃がん・肺がん検診を開始
- 6 月 第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 10 月 女性特有のがん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 平成 22 年 1 月 医用画像情報システムビューワー更新整備
- 4 月 社会保険加入者の被扶養者の集団特定健康診査を開始
- 9 月 超音波画像診断装置更新整備
- 全自動電気泳動装置更新整備
- 平成 23 年 3 月 FPD デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 3 日曜日)で乳がん・子宮がん検診を開始
- 6 月 第 52 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念式典を開催
- 11 月 働く世代への大腸がん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 12 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念パネル展を開催
-

---

平成 24 年 3 月	広島市健康づくりセンター 1 階（乳がん・子宮がん検診エリア等）改修工事完成
3 月	超音波画像診断装置更新整備
4 月	広島県知事の認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行
4 月	土曜健診を第 2・第 4・第 5 土曜日の実施に変更し、全ての土日健診（第 2・第 4・第 5 土曜日及び第 1・第 3 日曜日）で胃がん・肺がん検診を開始
平成 25 年 3 月	電子内視鏡ビデオ情報システム更新整備 CR 画像制御装置更新整備
4 月	被爆者一般健診会場において肺がん検診の同時実施を開始 人間ドック等健診業務を開始（広島市医師会臨床検査センターから移管）
6 月	第 54 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	電子内視鏡システム更新整備
12 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を廃止
平成 26 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
5 月	広島市健康づくりセンター 1 階（総合受付・一般健診エリア）改修工事
9 月	生理検査波形システム更新整備
12 月	内視鏡情報管理システム更新整備
平成 27 年 2 月	総合健診システム稼働
3 月	健康増進事業終了
5 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
6 月	第 56 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	乳房用 X 線撮影装置更新整備
平成 28 年 2 月	働く世代への大腸がん検診（無料クーポン券）の終了（広島市委託事業）
7 月	内視鏡による被爆者胃がん検診を開始
8 月	自動血球計算装置更新整備
9 月	健診業務 LAN と情報処理系 LAN を分離したシステム構築
平成 29 年 4 月	内視鏡による市民胃がん検診を開始
6 月	第 58 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
平成 30 年 4 月	集団健診会場において市民の骨粗鬆症検診を開始（広島市委託事業）
8 月	CT 撮影装置更新整備
10 月	超音波画像診断装置更新整備
平成 31 年 4 月	MRI 装置更新整備 特定健康診査及び市民の集団大腸がん検診を安芸区で開始
令和元年 6 月	第 60 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
令和 2 年 4 月	土曜健診を第 2・第 4 土曜日に実施（第 5 土曜日は中止）
9 月	超音波画像診断装置更新整備
令和 3 年 1 月	医用画像情報システム等更新整備
4 月	夜間の集団検診（健康診査、肺がん・大腸がん・乳がん検診）を開始（広島市委託事業） 協会けんぽ被扶養者を対象とする集団検診（特定健康診査、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診）を開始
6 月	第 61 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	将来構想検討委員会の設置

---

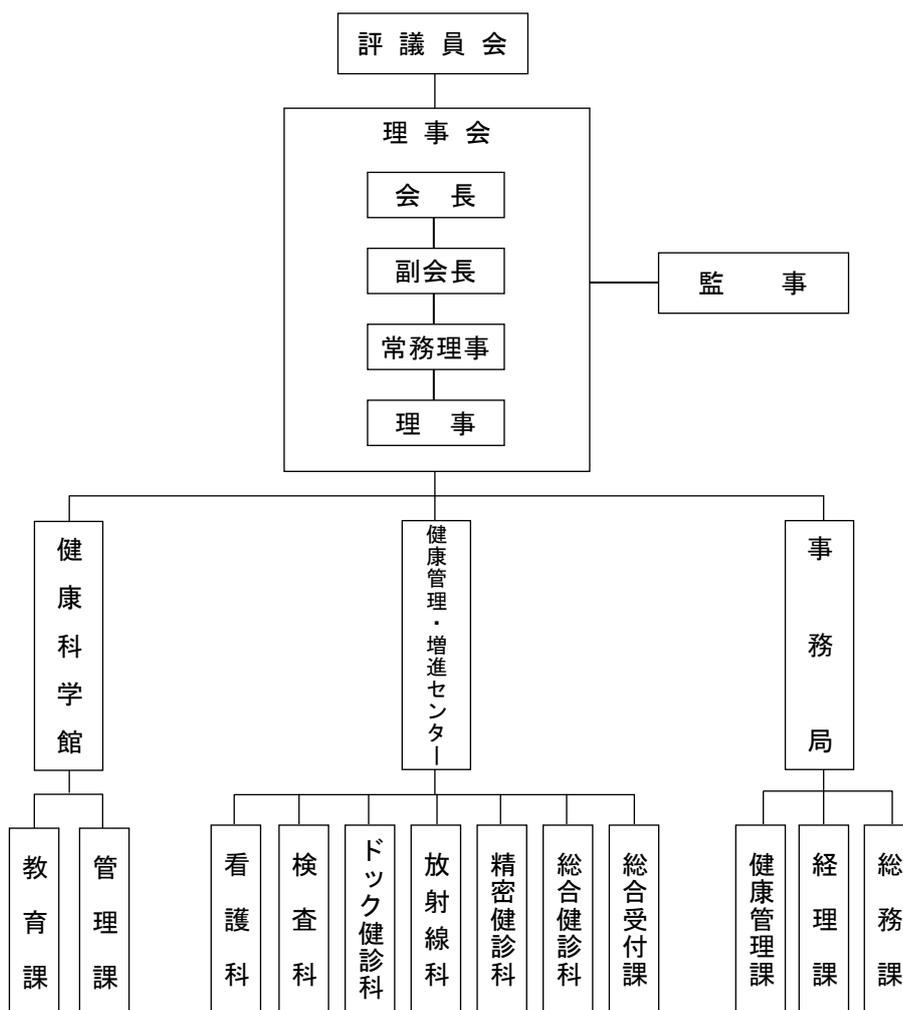
---

令和4年 3月 総合健診システム更新整備  
8月 X線骨密度測定装置更新整備  
9月 超音波画像診断装置更新整備  
12月 将来構想検討委員会より答申書の提出  
令和5年 3月 上部消化管汎用スコープ更新整備  
公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会を開催

---

## II 組 織

### 1 組 織 図



### 2 役 員・評 議 員

公益財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(令和5年6月22日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	松 村 誠	広島県医師会長
副 会 長	長 崎 孝 太 郎	医療法人厚生堂長崎病院理事長
副 会 長	山 本 匡	広島市医師会長
常務理事	沢 近 紀 夫	沢近医院長
常務理事	横 山 行 男	医療法人横山内科医院長
常務理事	長 敏 伸	広島原爆障害対策協議会事務局長
理 事	服 部 登	広島大学大学院医系科学研究科分子内科学教授
理 事	南 部 克 徳	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理 事	上 田 久 仁 子	広島市健康福祉局保健部長
理 事	関 野 弘 美	広島県健康福祉局被爆者支援課長
監 事	望 戸 洋	一般財団法人広島市都市整備公社監事
監 事	福 原 千 史	福原リハビリテーション整形外科・内科医院長

氏名	職名
板本敏行	県立広島病院長
岩崎学	広島市健康福祉局保健医療担当局長
大久保雅通	内科・糖尿病 久安医院長（広島市内科医会）
木下栄作	広島県健康福祉局長
工藤美樹	広島大学病院長
國重俊彦	広島原爆被爆者援護事業団理事長
熊谷宏	広島市歯科医師会長
坂井浩明	日本赤十字社広島県支部事務局長
佐藤修治	広島市医師会副会長
豊見雅文	広島県薬剤師会長
東幸仁	広島大学原爆放射線医科学研究所長
秀道広	広島市民病院長
古川善也	広島赤十字・原爆病院長
母谷龍典	広島市議会議長

(50音順)

### 3 職員

(令和5年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理・増進センター		健康科学館	
職種	人員	職種	人員	職種	人員
事務局長	1	所長	1	館長	1
事務職員	8(1)[5]	副所長	0	事務職員	3<6>
検査技師	2(1)	部長	1	栄養士嘱託	<1>
自動車運転手	2[1]	常勤医師	4		
		非常勤医師	23		
		読影委員	35		
		看護師	11<2>(2)		
		検査技師	21(6)[1]		
		放射線技師	7[2]		
		栄養士	2(1)		
		薬剤師	1		
		事務職員	10(4)<1>[7]		
小計	13(2)[6]	小計	116(13)<3>[10]	小計	4<7>
				合計	133(15)<10>[16]

注1：（ ）は本会再雇用職員で別掲

注2：< >は嘱託職員で別掲

注3：[ ]は無期転換職員で別掲

## Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本協議会の三者協力のもとに建設されたものであり、本協議会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本協議会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
- 2 敷地 9,622.67 m<sup>2</sup> (広島市 5,122.67 m<sup>2</sup>、広島市医師会 4,500.00 m<sup>2</sup>)
- 3 建物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ 15,916.26 m<sup>2</sup>

利用区分	面積
健康管理・増進センター専用	3,440.79 m <sup>2</sup>
事務局専用	1,000.42
健康科学館専用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,741.20
広島市医師会専用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合計	15,916.26

- 4 事業費 約90億円 (広島市約65億円、広島市医師会約25億円)

## IV 令和5年度事業計画

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、被爆者健診では広島市全体の実施件数の約3分の2(令和3年度61.1%)を本協議会が担っている。

しかし、被爆者の減少・高齢化、市民の健診ニーズの多様化、他の医療機関の健診機能の充実が進んでいる。

こうした環境の中、令和5年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」及び「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営」及び「健康教育事業・子育て支援事業」等を行う。

事業の実施にあたり、受診者・利用者へのサービス向上に努めるとともに、健診・検査事業の精度管理の向上や検査機器等の更新整備、職員の資質向上を図るため、各種研修に職員を積極的に参加させることにも取り組む。

また、持続的な組織運営のため事業規模に見合った人員配置を図る。

### 1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

#### (1) 健康診断の実施

- ① 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での出張健診を延べ334会場で実施する。

また、被爆者の高齢化等を考慮し、出張健診会場までの送迎を行う。

- ② 広島市健康づくりセンターでは、引き続き平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い第5土曜日、4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わない。)

- ③ 被爆二世健康診断は、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

- ④ 出張健診の日程等は、広島市の広報紙及び本協議会ホームページで周知を図る。

また、被爆者定期健康診断未受診者に対して受診勧奨通知を発送して受診促進を図る。

＜実施目標＞	一般検査	8,400件	精密検査	8,400件
	胃がん検診(X線)	400件	胃がん検診(内視鏡)	500件
	肺がん検診	5,000件	乳がん検診	900件
	子宮がん検診	600件	大腸がん検診	3,300件
	多発性骨髄腫検診	6,000件	骨粗鬆症検診	2,100件
	被爆二世健康診断	2,110件		

#### (2) 健康管理の推進

- ① 各種検診データを基に、広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、公益財団法人放射線影響研究所等の協力の下、悪性新生物の早期発見に努める。

- ② 糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症について、健診結果に基づき、必要に応じて保健指導、栄養指導を行う。

#### (3) 健康診断医療機器等の整備

老朽化した医療機器等の整備とともに、乳がん検出システム(マンモグラフィCAD)の導入や本協議会の情報セキュリティシステムの更新を行う。

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を集計して統計資料を作成する。

また、本協議会が長年集積してきた膨大な健診結果等について、関係機関と協議のもと、取り扱いを検討する。

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県、広島市の黒い雨体験者に対する医師、臨床心理士、保健師による相談・支援事業に派遣する医師等の調整や相談記録のデータベース化等を行う。

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）

(1) 調査研究の継続実施

被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、令和4年度以前に実施したものを引き続き研究する。研究成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文等を整理保管する。

(3) 第63回原子爆弾後障害研究会の開催

令和5年度は広島市において、「第63回原子爆弾後障害研究会」を公益財団法人放射線影響研究所、広島大学原爆放射線医科学研究所と共同でWeb開催する。

## 3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、各種援護措置の説明等を行う。

(2) 援護措置の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて本協議会独自で次の援護措置を行う。

- ① 生活困窮者に対する援護金支給
- ② 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
- ③ 福祉用具貸与・購入費利用補助
- ④ その他必要と認める経費の一部補助

## 4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 高齢者医療確保法等に基づく健康診査等の実施

① 特定健康診査等の実施

- ・ 健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での集団健診を延べ265会場で実施する。
- ・ 全国健康保険協会広島支部と広島市との連携のもと、協会けんぽの被扶養者を対象

とする特定健康診査と5大がん検診(※)の同時実施を延べ6会場で実施する。

(※) 胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診

- ・ 広島市健康づくりセンターでは、引き続き平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い第5土曜日、4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わない。)

## ② 特定保健指導の実施

特定健康審査等の健診結果に基づき、生活習慣病のリスクが高く、特定保健指導を受ける必要があると判定された者については、結果説明に続いて特定保健指導の受診を勧奨する。

<実施目標>

特定健康診査等(※)	13,850件
後期高齢者健康診査	5,500件
特定保健指導	837件

(※) 医療保険未加入者分及び被用者保険加入者分を含む。

## (2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

### ① がん検診等の実施

- ・ 健康づくりセンターでの施設検診のほか、公民館・集会所等での集団検診を延べ413会場(※1)で実施する。

(※1) 単独実施：83会場、健康診査等と合同実施：330会場

- ・ 5大がん検診と健康診査の同時実施を延べ86会場で実施する。
- ・ 受診機会の拡大のため、休日の集団検診を延べ26会場(※2)、夜間の集団検診を延べ5会場(※3)で実施する。

(※2) うち延べ17会場は5大がん検診等

(※3) 肺がん・大腸がん・乳がん検診及び健康診査

- ・ 広島市健康づくりセンターでは、引き続き平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。年間で受診率の低い第5土曜日、4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)の検診は行わない。)

### ② 集団検診の日程等は、広島市及び本協議会ホームページで周知を図る。

また、がん検診未受診者に対して受診勧奨通知を発送して受診促進を図る。

<実施目標>

胃がん検診(X線)	8,000件	胃がん検診(内視鏡)	3,070件
肺がん検診	20,000件	乳がん検診	7,000件
子宮頸がん検診	5,600件	大腸がん検診	16,700件
骨粗鬆症検診	3,900件	肝炎ウイルス検査	2,610件
風しん抗体検査	165件		

## (3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

<実施目標>

結核健康診断 13,200件

(65才以上の肺がん検診との同時検査：13,180件を含む。)

## (4) 健康管理資料の保管

受診者の健診資料(心電図所見・がん症例報告等)を整理・保管する。

## 5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

令和4年4月からの5年間、広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営、健康科学館での健康教育事業及び子育て支援事業を行う。

### （1）健康教育事業

健康に関する最新情報を分かりやすく正確に提供するとともに、教育研修等を積極的に行い、日常における健康管理について正しい知識の普及を図る。

＜年間入館者数目標＞ 52,800人

- ① 健康科学展示施設の運営
  - ・ 企画展開催 年4回
  - ・ パネル展 年12回
- ② 健康ライブラリーの運営
  - ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
- ③ 健康に関する研修等の実施
  - ・ 主催による研修会・イベント 年46回
- ④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成
  - ・ ボランティア養成講座（6課程） 年1回
  - ・ ボランティア育成講座 年2回
  - ・ ボランティアの活動 年430回
- ⑤ 健康に関する情報の収集・提供
  - ・ インターネットによる健康情報の提供を行う。

### （2）子育て支援事業

#### ① ファミリー・サポート・センター事業

会員同士の子育てに関する相互援助活動により、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。

- ・ 提供会員と依頼会員とのマッチングの実施
- ・ 提供会員希望者への講習会の実施 年1回

#### ② つどいの広場事業

子育て家庭の保護者と子どもが気軽につどい、あそびと育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の軽減や地域の子育て支援の充実を図る。

＜年間利用者数目標＞ 20,600人

- ・ 子育てに関する講習会の実施 年20回

#### ③ パパとママの育児教室の開催

夫婦が協力して子育てを行うため、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図る。

- ・ 開催回数 年34回

## 6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

### （1）検査診療等の事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等と連携

して最善の方策を進める。

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）を行う。

(2) 人間ドック健診等の事業

事業所・健康保険組合等からの委託を受け、人間ドック健診や事業所健診等を行うほか、全国健康保険協会管掌健康保険加入事業所を対象に生活習慣病予防健診を行う。

また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行う。

<実施目標>

人間ドック健診	1,867 件
生活習慣病予防健診	3,289 件
事業所健診	3,473 件
ストレスチェック	800 件

(3) その他の健診等の事業

① 軽度認知症等の早期発見に係る検査を実施する。

<実施目標>

もの忘れチェックテスト（早期認知機能低下の早期発見）	90 件
ロコモ検診（運動機能低下の早期発見）	15 件

② 各種予防接種の実施

広島市健康づくりセンターにおいて各種予防接種（新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン等）を行う。

③ 他の医療機関からの依頼に基づき、胃内視鏡検査の二重読影を行う。

## 7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）」の主要団体として、被曝者医療を学ぶために来日した研修生の受入れ等、事業の推進に協力する。

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談など、在外被曝者への支援を行う。

# V 令和5年度予算

## 収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					小 計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	公益1 健康診断・ 調査研究事業	公益2 援護福祉事業	公益3 健康教育・ 子育て支援事業	共 通	人 間		ドック 健診等事業		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	1	0	0	0	1	0	0	1	
特定資産運用益	384	0	0	0	384	96	791	1,271	
事業収益	809,392	0	103,783	0	913,175	357,772	0	1,270,947	
受取補助金等	2,420	0	0	0	2,420	605	0	3,025	
受取寄付金	0	580	0	0	580	0	0	580	
雑収益	0	0	0	0	0	489	0	489	
経常収益計	812,197	580	103,783	0	916,560	358,962	791	1,276,313	
(2) 経常費用									
事業費	905,142	7,706	113,189	0	1,026,037	384,728		1,410,765	
管理費							5,990	5,990	
経常費用計	905,142	7,706	113,189	0	1,026,037	384,728	5,990	1,416,755	
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 92,945	△ 7,126	△ 9,406	0	△ 109,477	△ 25,766	△ 5,199	△ 140,442	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 92,945	△ 7,126	△ 9,406	0	△ 109,477	△ 25,766	△ 5,199	△ 140,442	
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	32	0	0	0	32	8	0	40	
経常外費用計	32	0	0	0	32	8	0	40	
当期経常外増減額	△ 32	0	0	0	△ 32	△ 8	0	△ 40	
他会計振替前 当期一般正味財産増減額	△ 92,977	△ 7,126	△ 9,406	0	△ 109,509	△ 25,774	△ 5,199	△ 140,482	
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前 当期一般正味財産増減額	△ 92,977	△ 7,126	△ 9,406	0	△ 109,509	△ 25,774	△ 5,199	△ 140,482	
法人税、住民税及び事業税					0	0	71	71	
当期一般正味財産増減額	△ 92,977	△ 7,126	△ 9,406	0	△ 109,509	△ 25,774	△ 5,270	△ 140,553	
一般正味財産期首残高	699,628	△ 33,474	△ 44,875	837	622,116	220,853	△ 107,755	735,214	
一般正味財産期末残高	606,651	△ 40,600	△ 54,281	837	512,607	195,079	△ 113,025	594,661	
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	200	200	0	0	200	
指定正味財産期末残高	0	0	0	200	200	0	0	200	
III 正味財産期末残高	606,651	△ 40,600	△ 54,281	1,037	512,807	195,079	△ 113,025	594,861	

## VI 令和4年度事業実績

### 1 健康診断事業

#### (1) 被爆者健康診断

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。検査項目は下表のとおりである。

健診種別及び検査項目（令和4年度）

種 別		検 査 項 目
一般検査		問診等・CRP検査・血液一般検査・尿検査・血圧測定 ※医師が必要と認める場合、肝機能検査、ヘモグロビンA1c検査
精密検査		血液生化学検査・心電図検査・各種画像検査・運動器の検査等
がん検診	胃がん検診	問診・胃部X線撮影 又は 胃内視鏡検査
	肺がん検診	問診・胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	問診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	問診・視診、内診、細胞診（頸部）
	多発性骨髄腫検診	問診・血液検査（血清蛋白分画検査）
	大腸がん検診	問診・便潜血二日法
骨粗鬆症検診		問診・骨塩定量検査（DEXA法）

一般検査は、毎年、前期・後期の2回行う定期健康診断のほかに、年2回を限度として申請による健康診断が受診できる。一般検査の結果、必要があると認められた場合に、精密検査を実施する。また、申請による健康診断のうち1回をがん検診として受診できる。

#### ア 被爆者一般・精密検査の実施

被爆者一般検査・精密検査は、広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、市内の公民館、集会所での出張健診を実施している。

広島市健康づくりセンターでは、毎月第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも健診を実施（4月及び8月の土曜日及び日曜日は4月の第3日曜日を除き実施しない。）しており、出張健診は年間11回の日曜健診を実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況

(単位:人,%)

年度	一般検査		精密検査 受診件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ受診件数
	受診件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	104.5*	110,420
* 8	52,715	52,541	54,967*	104.6*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047
23	23,952	23,947	25,508*	106.5*	49,460
24	22,339	22,339	23,510*	105.2*	45,849
25	21,056	21,056	22,176*	105.3*	43,232
26	18,760	18,758	19,544*	104.2*	38,304
27	17,698	17,695	18,759*	106.0*	36,457
28	16,020	16,020	16,546*	103.3*	32,566
29	15,209	15,209	15,418*	101.4*	30,627
30	14,599	14,599	14,628*	100.2*	29,227
令和元	13,011	13,011	13,032*	100.2*	26,043
◎ 2	10,140	10,140	10,155*	100.1*	20,295
◎ 3	8,663	8,663	8,662	99.9	17,325
4	9,460	9,460	9,459	99.9	18,919

\* 手帳更新年度

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ本協議会で実施した人数を含んでいるためである。

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

## イ 令和4年度被爆者一般・精密検査実施状況

令和4年度の一般検査の受診者数は9,460人、精密検査の受診者は9,459人であった。詳細は以下のとおりである。

### (7) 一般検査

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間の当施設及び延332回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表2 a・bに示すとおり、男性4,313人、女性5,147人、計9,460人で、前年度との比較では797人の増加(男性285人、女性512人)である。年齢構成は、男性、女性ともに80歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性81.7±4.5歳、女性82.2±5.0歳、全体では82.0±4.8歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は3,380人(35.7%)、出張健診会場は6,080人(64.3%)であり、前年度に比し、施設健診は178人の減少、出張健診は975人の増加である。

出張健診の区別の受診状況は表2 cに示すとおり、受診率は安芸区が17.2%と最も高く、次いで安佐北区11.0%、佐伯区10.9%であり、全体では8.7%である。

表2 被爆者 一般検査

#### a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
75～79	1,684	39.0	1,962	38.1	3,646	38.5
80～89	2,285	53.0	2,618	50.9	4,903	51.8
90～107	344	8.0	567	11.0	911	9.6
計	4,313	100.0	5,147	100.0	9,460	100.0

#### b 健診会場別実施状況

(単位：日，人)

区分	令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較増減(A)－(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	281	3,380	278	3,558	3	△ 178
出張健診	332	6,080	280	5,105	52	975
計	613	9,460	558	8,663	55	797

#### c 出張健診区別実施状況

(単位：日，人，%)

区分	令和4年度(A)				令和3年度(B)				比較増減(A)－(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数*	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中区	22	6,252	383	6.1	18	5,199	405	7.8	4	1,053	△ 22
東区	45	7,439	595	8.0	35	6,645	548	8.2	10	794	47
南区	39	9,654	620	6.4	37	8,386	538	6.4	2	1,268	82
西区	51	12,442	749	6.0	42	10,957	591	5.4	9	1,485	158
安佐南区	55	13,274	1,243	9.4	50	12,034	1,096	9.1	5	1,240	147
安佐北区	51	9,383	1,033	11.0	52	8,969	1,015	11.3	△ 1	414	18
安芸区	21	3,241	557	17.2	15	2,802	375	13.4	6	439	182
佐伯区	48	8,292	900	10.9	31	5,785	537	9.3	17	2,507	363
計	332	69,977	6,080	8.7	280	60,777	5,105	8.4	52	9,200	975

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

\*令和3年度は、緊急事態宣言で出張健診が中止になっているので、対象者数が少なくなっている。

d 要精検率

(単位：人)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			(%)			(%)			(%)
75～79	1,684	1,684	100.00	1,962	1,962	100.00	3,646	3,646	100.00
80～89	2,285	2,285	100.00	2,618	2,618	100.00	4,903	4,903	100.00
90～	344	344	100.00	567	567	100.00	911	911	100.00
計	4,313	4,313	100.00	5,147	5,147	100.00	9,460	9,460	100.00

(1) 精密検査

令和4年度の精密検査受診者延数は表3 aに示すとおり、男性4,312人、女性5,147人、計9,459人であり、前年度に比し男性は285人の増加、女性は512人の増加、全体では797人増加している。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表3 cに示すとおり、肝機能検査が最も多く、次に、血糖検査、白血球分類、心電図、TSH(CLEIA)、Free T4、CAVIの順である。

健診(検診)や精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要な者を要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要な者を要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表3 d・eである。要治療者については、男性では高血圧、脂質異常症、糖尿病の順に多くみられ、女性では高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、脂質異常症、肝機能障害の順に多くみられ、女性では、脂質異常症、高血糖、血尿の順である。

表3 被爆者 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		(%)		(%)		(%)
75～79	1,683	39.0	1,962	38.1	3,645	38.5
80～89	2,285	53.0	2,618	50.9	4,903	51.8
90～	344	8.0	567	11.0	911	9.6
計	4,312	100.0	5,147	100.0	9,459	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人、%)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
75～79	1,684	1,683	99.9	1,962	1,962	100.0	3,646	3,645	99.9
80～89	2,285	2,285	100.0	2,618	2,618	100.0	4,903	4,903	100.0
90～	344	344	100.0	567	567	100.0	911	911	100.0
計	4,313	4,312	99.9	5,147	5,147	100.0	9,460	9,459	99.9

c. 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施件数	検査項目	実施件数
肝機能検査	9,459	M R I	143
血糖検査	9,457	心臓超音波検査	80
白血球分類	9,454	眼底検査	65
心電図	7,286	胃内視鏡検査	25
T S H ( C L E I A )	3,744	大腸内視鏡検査	22
F r e e T 4	3,732	F r e e T 3	32
C A V I	2,237	抗 T P O 抗体	6
頸動脈超音波検査	1,650	ブドウ糖負荷試験	2
C T	321	尿沈査	1
腹部超音波検査	187	免疫グロブリン	1
甲状腺超音波検査	148	スパイロメトリー検査※	0

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点より、令和2年4月16日より検査を中止している。

## d 要治療者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感染症	その他	4	0.09	1	0.02	5	0.05
悪性新生物	胃 癌	38		23		61	
	肺 癌	31		10		41	
	多発性骨髄腫	9		8		17	
	結腸・直腸癌	21		8		29	
	乳 癌	0		59		59	
	前立腺癌	186	8.42	0	3.73	186	5.87
	膀胱癌	13		5		18	
	甲状腺癌	29		69		98	
	食道癌	7		0		7	
	その他	29		10		39	
良性新生物	その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
内分泌・代謝疾	糖尿病	995		676		1,671	
	甲状腺腫	0		1		1	
	甲状腺機能低下症	197		552		749	
	甲状腺機能亢進症	6	75.07	29	70.66	35	72.67
	脂質異常症	1,450		2,276		3,726	
	高尿酸血症	587		98		685	
	その他	2		5		7	
血液疾患	貧血	102		165		267	
	その他	1	2.39	5	3.30	6	2.89
精神障害・神経感覚器疾患	パーキンソン	21		29		50	
	その他	0	0.49	4	0.64	4	0.57
循環器疾患	高血圧	2,499		2,723		5,222	
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	530		332		862	
	その他の心疾患	418	87.82	415	72.20	833	79.32
	脳血管障害	309		226		535	
	その他の循環器疾患	31		20		51	
呼吸器疾患	肺炎	8		2		10	
	慢性気管支炎	1		0		1	
	喘息	83		186		269	
	肺気腫	72	4.50	7	3.98	79	4.22
	肺線維症	7		2		9	
	その他	23		8		31	
消化器疾患	胃潰瘍	6		2		8	
	十二指腸潰瘍	1		0		1	
	肝機能障害	98	4.66	103	5.36	201	5.04
	その他	96		171		267	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	4		4		8	
	腎不全	85		20		105	
	前立腺肥大症	729	18.99	0	0.51	729	8.93
	尿路感染症	0		0		0	
	その他	1		2		3	
皮膚・筋骨格系疾患	リウマチ様関節炎	57		109		166	
	骨粗鬆症	171	5.43	1,645	34.10	1,816	21.03
	その他	6		1		7	
その他	その他	0	0.00	2	0.04	2	0.02
総被検者数		4,312		5,147		9,459	

e 要経過観察者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病名	男 性		女 性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感 染 症	陳 旧 性 肺 結 核	0		0	0.00	0	
	そ の 他	1	0.02	0		1	0.01
新 生 物	多 発 性 骨 髄 腫	0		0		0	
	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	2	0.19	2	0.35	4	0.27
	そ の 他 の 良 性 新 生 物	6		16		22	
内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患	高 血 糖	1,131		974		2,105	
	甲 状 腺 腫	25		62		87	
	そ の 他 の 内 分 泌 疾 患	1	45.48	3	43.29	4	44.29
	脂 質 異 常 症	678		1,127		1,805	
	そ の 他 の 代 謝 疾 患	126		62		188	
血 液 疾 患	貧 血	93		203		296	
	そ の 他	0	2.16	0	3.94	0	3.13
精 神 障 害 ・ 神 経 感 覚 器 疾 患	精 神 障 害	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	神 経 感 覚 器 疾 患						
循 環 器 疾 患	高 血 圧	141		172		313	
	高 血 圧 性 心 疾 患	0		0		0	
	虚 血 性 心 疾 患	0	23.45	0	17.86	0	20.40
	そ の 他 の 心 疾 患	12		7		19	
	脳 血 管 障 害	11		5		16	
	そ の 他 の 循 環 器 疾 患	847		735		1,582	
呼 吸 器 疾 患	喘 息	0		0		0	
	肺 気 腫	13	0.70	0	0.12	13	0.38
	肺 線 維 症	10		2		12	
	そ の 他	7		4		11	
消 化 器 疾 患	胃 炎	23		14		37	
	胃 ポ リ プ	0		0		0	
	肝 機 能 障 害	468	12.04	281	6.37	749	8.95
	そ の 他	28		33		61	
泌 尿 ・ 生 殖 器 疾 患	腎 炎	369		83		452	
	血 尿	201		597		798	
	蛋 白 尿	382	29.85	360	27.88	742	28.78
	尿 糖	78		26		104	
	そ の 他	257		369		626	
皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾 患	皮 膚 疾 患	0		0		0	
	リウマチ様関節炎	0		0		0	
	骨 粗 鬆 症	1	0.07	2	0.06	3	0.06
	そ の 他 の 骨 関 節 疾 患	2		1		3	
そ の 他	そ の 他	3	0.07	30	0.58	33	0.35
総被検者数		4,312		5,147		9,459	

令和4年度データより疾病区分の「その他」に分類されていた高血糖を内分泌・代謝疾患へ、血尿・蛋白尿・尿糖を泌尿・生殖器疾患に移行した。

## ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度から、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度から広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

平成18年度から、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

平成28年7月から、胃がん検診は胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

平成30年度から、乳がん検診の視触診を廃止。

被爆者がん検診等の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5に示すとおりである。

表4 被爆者がん検診等の推移

検診	検診会場	施設検診	出張検診		
			中区・東区・南区 区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～		平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診					
乳がん検診					
子宮がん検診					
多発性骨髄腫検診			昭和63年8月～		
大腸がん検診	平成4年10月～		平成4年10月～		
骨粗鬆症検診	平成7年4月～				

表5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診※	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診	
昭和 54	2,165							
55	4,388							
56	2,843							
57	4,979							
58	5,446							
59	5,079							
60	5,142							
61	5,024							
62	4,973							201
63	5,255							6,442
平成元	3,848	8,052	809	751	43,045			
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060			
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018		
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535		
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306		
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812		
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995	
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891	
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605	
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055	
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597	
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000	
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848	
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211	
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516	
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193	
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580	
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480	
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049	
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932	
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888	
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623	
23	4,133	11,159	2,536	2,040	16,376	9,766	5,306	
24	3,891	10,438	2,527	2,032	15,311	9,331	5,132	
25	3,392	11,311	2,300	1,870	14,468	8,570	4,984	
26	2,881	10,278	2,098	1,696	13,120	7,577	4,530	
27	2,317	9,681	1,993	1,567	12,401	7,025	4,543	
28	2,268(445)	8,730	1,779	1,360	11,253	6,345	3,855	
29	1,980(487)	8,345	1,643	1,276	10,538	6,016	3,553	
30	1,937(622)	8,056	1,520	1,154	9,991	5,595	3,513	
令和元	1,539(561)	7,194	1,451	1,043	8,918	5,130	3,081	
◎ 2	1,069(470)	5,850	1,063	769	7,356	3,833	2,562	
◎ 3	902(471)	5,189	943	654	6,466	3,451	2,364	
4	936(480)	5,454	993	672	6,751	3,583	2,335	

※ 胃がん検診は、平成 28 年 7 月から、胃部 X 線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

( )内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診と平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて実施したものである。

## エ 令和3年度被爆者がん検診等実施状況(令和5年5月末までの追跡調査の結果)

令和3年度の時点で被爆者対象年齢は74歳以上である。

### (7) 胃がん検診

胃がん検診の胃部X線検査における受診者数は表6 aに示すとおり、男性276人、女性155人、計431人である。要精検率は男性13.0%、女性7.7%、計11.1%、精検受診率はそれぞれ100.0%、91.7%、97.9%である。要精検率は女性に比し男性がやや高率である。

精検結果は表6 bに示すとおりである。胃部X線検査では、有所見率は男性、女性ともに100.0%である。主な所見の内訳は、非上皮性腫瘍10.64%、胃ポリープ8.51%、胃潰瘍8.51%、胃癌2.13%である。

胃がん検診の胃内視鏡検査における受診者数は表6 aに示すとおり、男性285人、女性186人、計471人である。

精検結果は表6 bに示すとおり、有所見率は男性92.98%、女性92.47%、計92.78%であり、男性と女性とはほぼ同率である。主な所見の内訳は、胃ポリープ1.70%、胃潰瘍1.70%、胃癌1.06%、非上皮性腫瘍0.21%である。

令和3年度新たに発見された胃癌症例は、表6 cに示すとおりである。胃部X線検査では、胃癌症例は男性1例、女性0例、計1例である。胃癌発見率は男性0.36%、女性0.00%、計0.23%、陽性反応的中度はそれぞれ2.78%、0.00%、2.08%である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性4例、女性1例、計5例である。胃癌発見率は男性1.40%、女性0.54%、計1.06%である。

表6 被爆者 胃がん検診

#### a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

##### 胃部X線検査

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		
276	36	13.0	36	100.0	155	12	7.7	11	91.7	431	48	11.1	47	97.9

<sup>1</sup> 要精検率:要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

##### 胃内視鏡検査

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		
285	43	15.1	43	100.0	186	22	11.8	22	100.0	471	65	13.8	65	100.0

<sup>1</sup> 要精検率:要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

#### b 精検結果

##### 胃部X線検査

(単位:人)

性	精 検 所 見															有所見例数		
	胃癌	非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常				
	(%) <sup>1</sup>																	
男性	1	2.78	3	8.33	0	0.00	0	0.00	3	8.33	3	8.33	26	84.08	0	0.00	36	100.00
女性	0	0.00	2	18.18	0	0.00	0	0.00	1	13.63	1	9.09	7	63.64	0	0.00	11	100.00
計	1	2.13	5	10.64	0	0.00	0	0.00	4	8.51	4	8.51	33	70.21	0	0.00	47	100.00

<sup>1</sup> 有所見率:有所見例数/精検受診者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	受診者数	精 検 所 見										有所見例数							
		胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		有所見例数 (%) <sup>1</sup>	
		(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>1</sup>															
男性	285	4	2.74	0	0.00	1	0.35	0	0.00	7	2.46	6	2.11	247	86.67	20	7.02	265	92.98
女性	186	1	0.54	1	0.54	0	0.00	0	0.00	1	0.54	2	1.08	167	89.78	14	7.53	172	92.47
計	471	5	1.06	1	0.21	1	0.21	0	0.00	8	1.70	8	1.70	414	87.90	34	7.22	437	92.78

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

胃部X線検査

(単位:人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症例		
			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>
男性	2.0km以内直接被爆群	53	9	17.0	9	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	85	5	5.9	5	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	138	22	15.9	22	100.0	1	0.72	4.55
	計	276	36	13.0	36	100.0	1	0.36	2.78
女性	2.0km以内直接被爆群	27	1	3.7	1	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	52	6	11.5	5	83.3	0	0.00	0.00
	入市・他群	76	5	6.6	5	100.0	0	0.00	0.00
	計	155	12	7.7	11	91.7	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	80	10	12.5	10	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	137	11	8.0	10	90.9	0	0.00	0.00
	入市・他群	214	27	12.6	27	100.0	1	0.47	3.70
	計	431	48	11.1	47	97.9	1	0.23	2.08

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: がん症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応の中度: がん症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症例		
			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>
男性	2.0km以内直接被爆群	45	6	13.3	6	100.0	1	2.22	16.67
	2.1km以上直接被爆群	101	14	13.9	14	100.0	2	1.98	14.29
	入市・他群	139	23	16.5	23	100.0	1	0.72	4.35
	計	285	43	15.1	43	100.0	4	1.40	9.30
女性	2.0km以内直接被爆群	37	2	5.4	2	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	60	12	20.0	12	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	89	8	9.0	8	100.0	1	1.12	12.50
	計	186	22	11.8	22	100.0	1	0.54	4.55
計	2.0km以内直接被爆群	82	8	9.8	8	100.0	1	1.22	12.50
	2.1km以上直接被爆群	161	26	16.1	26	100.0	2	1.24	7.69
	入市・他群	228	31	13.6	31	100.0	2	0.88	6.45
	計	471	65	13.8	65	100.0	5	1.06	7.69

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: がん症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応の中度: がん症例数/要精検者数×100

(1) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表7aに示すとおり、男性2,460人、女性2,729人、計5,189人である。要精検率は男性5.2%、女性3.8%、計4.5%、精検受診率はそれぞれ85.9%、94.3%、89.7%である。

精検結果は表7bに示すとおり、有所見率は男性90.91%、女性81.82%、計86.60%で男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、肺炎7.18%、肺癌5.74%、肺線維症5.74%、非結核性抗酸菌症4.31%である。

令和3年度新たに発見された肺癌症例は表7cに示すとおり、男性9例、女性3例、計12例である。肺癌発見率は男性0.37%、女性0.11%、計0.23%であり、陽性反応の集中度はそれぞれ7.03%、2.86%、5.15%である。

表7 被爆者 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

受診者数	男性				女性				計					
	要精検者数		精検受診者数		要精検者数		精検受診者数		要精検者数		精検受診者数			
	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>												
2,460	128	5.2	110	85.9	2,729	105	3.8	99	94.3	5,189	233	4.5	209	89.7

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精検所見															有所見例数		
	肺癌		縦隔腫瘍		非結核性抗酸菌症		肺炎		肺気腫		肺線維症		その他		正常		(%) <sup>1</sup>	
	(%) <sup>1</sup>																	
男性	9	8.18	2	1.82	4	3.64	14	12.73	12	10.91	8	7.27	51	46.36	10	9.09	100	90.91
女性	3	3.03	1	1.01	5	5.05	1	1.01	2	2.02	4	4.04	71	71.72	18	18.18	81	81.82
計	12	5.74	3	1.44	9	4.31	15	7.18	14	6.70	12	5.74	122	58.37	28	13.40	181	86.60

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺癌症例		
			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の集中度(%) <sup>4</sup>			
						陽性反応の集中度(%) <sup>4</sup>	陽性反応の集中度(%) <sup>4</sup>		
男性	2.0km以内直接被爆群	473	24	5.1	23	95.8	1	0.21	4.17
	2.1km以上直接被爆群	871	46	5.3	38	82.6	1	0.11	2.17
	入市・他群	1,116	58	5.2	49	84.5	7	0.63	12.07
	計	2,460	128	5.2	110	85.9	9	0.37	7.03
女性	2.0km以内直接被爆群	533	28	5.3	27	96.4	1	0.19	3.57
	2.1km以上直接被爆群	907	38	4.2	35	92.1	0	0.00	0.00
	入市・他群	1,289	39	3.0	37	94.9	2	0.16	5.13
	計	2,729	105	3.8	99	94.3	3	0.11	2.86
計	2.0km以内直接被爆群	1,006	52	5.2	50	96.2	2	0.20	3.85
	2.1km以上直接被爆群	1,778	84	4.7	73	86.9	1	0.06	1.19
	入市・他群	2,405	97	4.0	86	88.7	9	0.37	9.28
	計	5,189	233	4.5	209	89.7	12	0.23	5.15

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数 × 100

<sup>4</sup> 陽性反応の集中度: 症例数/要精検者数 × 100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数は表8aに示すとおり、943人である。要精検率は2.0%、精検受診率は100.0%である。

精検結果は表8bに示すとおり、有所見率は73.68%である。主な所見の内訳は、その他の良性疾患42.11%、早期乳癌15.79%、進行期乳癌10.53%、良性腫瘍5.26%である。

令和3年度新たに発見された乳癌症例は表8cに示すとおり、5例である。乳癌発見率は0.53%であり、陽性反応の集中度は26.32%である。

表8 被爆者 乳がん

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>
943	19	2.0	19	100.0

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

精 検 所 見															有所見例数		
悪性腫瘍							良性疾患										
乳癌							その他	良性腫瘍		その他の良性疾患			正常				
早期		進行期		病期不明				良性腫瘍	その他の良性疾患								
(%) <sup>1</sup>																	
5	26.32	3	15.79	2	10.53	0	0.00	0	0.00	1	5.26	8	42.11	5	26.32	14	73.68

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

c 被爆状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳癌症例		
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応的中度(%) <sup>4</sup>			
2.0km以内直接被爆群	178	2	1.1	2	100.0	1	0.56	50.00
2.1km以上直接被爆群	304	6	2.0	6	100.0	2	0.66	33.33
入市・他群	461	11	2.4	11	100.0	2	0.43	18.18
計	943	19	2.0	19	100.0	5	0.53	26.32

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

### (I) 子宮がん検診

子宮がん検診の受診者数は表9 aに示すとおり、654人である。要精検者数は0人だった。

表9 被爆者 子宮がん

a 受診者数, 要精検者数

受診者数	要精検者数	
		(%) <sup>1</sup>
654	0	0.0

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

### (オ) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者数は表10 aに示すとおり、男性2,948人、女性3,518人、計6,466人である。要精検率は男性7.0%、女性4.0%、計5.4%、精検受診率はそれぞれ88.9%、80.6%、85.5%である。

精検結果は表10 bに示すとおり、有所見率は男性88.41%、女性80.58%、計85.26%である。主な所見の内訳は、前骨髄腫41.89%、骨髄腫26.01%、マクログロブリン血症19.93%である。

表10 cに示すとおり、骨髄腫症例は男性40例(1.36%)、女性37例(1.05%)、計77例(1.19%)である。そのうち、令和3年度新たに発見された新規骨髄腫症例は男性4例、女性2例、計6例である。新規骨髄腫発見率は男性0.14%、女性0.06%、計0.09%であり、陽性

反応の中度はそれぞれ 2.17%、1.79%、2.03%である。

令和3年度より翌年の検診システム更新に向けて、判定基準とフォロー体制に変更があった。

表 10 被爆者 多発性骨髄腫検診

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

受診者数	男 性				女 性				計					
	要精検者数	精検受診者数		受診者数	要精検者数	精検受診者数		受診者数	要精検者数	精検受診者数				
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>			
2,948	207	7.0	184	88.9	3,518	139	4.0	112	80.6	6,466	346	5.4	296	85.5

要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見											有所見例数		
	骨髄腫		前骨髄腫		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		その他		M蛋白(-)			(%) <sup>1</sup>
	(%) <sup>1</sup>													
男性	40	21.74	82	44.57	41	22.28	20	10.87	0	0.00	24	13.04	183	88.41
女性	37	33.04	42	37.50	18	16.07	15	13.39	0	0.00	27	24.11	112	80.58
計	77	26.01	124	41.89	59	19.93	35	11.82	0	0.58	51	17.23	295	85.26

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		骨髄腫症例数		新規骨髄腫症例 <sup>1</sup>		
			(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>3</sup>	(%)	(%)	発見率(%) <sup>4</sup>		陽性反応の中度(%) <sup>5</sup>		
							発見率(%) <sup>4</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>5</sup>			
男性	2.0km以内直接被爆群	606	44	7.3	37	84.1	5	0.83	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,164	75	6.4	67	89.3	12	1.03	2	0.17	0.00
	入市・他群	1,178	88	7.5	80	90.9	23	1.95	2	0.17	2.50
	計	2,948	207	7.0	184	88.9	40	1.36	4	0.14	2.17
女性	2.0km以内直接被爆群	769	35	4.6	28	80.0	4	0.52	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,296	45	3.5	40	88.9	19	1.47	1	0.08	2.50
	入市・他群	1,453	59	4.1	44	74.6	14	0.96	1	0.07	2.27
	計	3,518	139	4.0	112	80.6	37	1.05	2	0.06	1.79
計	2.0km以内直接被爆群	1,375	79	5.7	65	82.3	9	0.65	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	2,460	120	4.9	107	89.2	31	1.26	3	0.12	2.80
	入市・他群	2,631	147	5.6	124	84.4	37	1.41	3	0.11	2.42
	計	6,466	346	5.4	296	85.5	77	1.19	6	0.09	2.03

<sup>1</sup> 今年度新たに発見された症例数

<sup>2</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>3</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

<sup>4</sup> 発見率: 症例数/受診者数 × 100

<sup>5</sup> 陽性反応の中度: 症例数/要精検者数 × 100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 11 a に示すとおり、男性 1,578 人、女性 1,873 人、計 3,451 人である。要精検率は男性 8.7%、女性 6.6%、計 7.6%、精検受診率はそれぞれ 68.1%、55.3%、62.1%である。

精検結果は表 11 b に示すとおり、有所見率は男性 78.72%、女性 76.47%、計 77.78%で男性が女性に比しわずかに高率である。主な所見の内訳は、腺腫 34.57%、大腸憩室 16.67%、非腫瘍性ポリープ 10.49%、大腸癌 6.17%である。

令和 3 年度新たに発見された大腸癌症例は表 11 c に示すとおり、男性 7 例、女性 3 例、計 10 例である。大腸癌発見率は男性 0.44%、女性 0.16%、計 0.29%であり、陽性反応の中度は 5.07%、2.44%、3.83%である。

表 11 被爆者 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性				女 性				計						
受診者数	要精検者数	精検受診者数	受診者数	要精検者数	精検受診者数	受診者数	要精検者数	精検受診者数	受診者数	要精検者数	精検受診者数			
	(%) <sup>1</sup>			(%) <sup>2</sup>			(%) <sup>1</sup>			(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	
1,578	138	8.7	94	68.1	1,873	123	6.6	68	55.3	3,451	261	7.6	162	62.1

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見													有所見例数		
	大腸癌	腺腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正常		有所見例数	(%) <sup>1</sup>	
	(%) <sup>1</sup>															
男性	7	7.45	39	41.49	6	6.38	0	0.00	11	11.70	11	11.70	19	20.21	74	78.72
女性	3	4.41	17	25.00	11	16.18	0	0.00	16	23.53	5	7.35	16	23.53	52	76.47
計	10	6.17	56	34.57	17	10.49	0	0.00	27	16.67	16	9.88	35	21.60	126	77.78

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大腸癌症例		
			要精検者数	(%) <sup>1</sup>	精検受診者数	(%) <sup>2</sup>	大腸癌症例		
							発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>	
男性	2.0km以内直接被爆群	276	21	7.6	13	61.9	1	0.36	4.76
	2.1km以上直接被爆群	538	48	8.9	35	72.9	1	0.19	2.08
	入市・他群	764	69	9.0	46	66.7	5	0.65	7.25
	計	1,578	138	8.7	94	68.1	7	0.44	5.07
女性	2.0km以内直接被爆群	360	19	5.3	12	63.2	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	610	45	7.4	24	53.3	2	0.33	4.44
	入市・他群	903	59	6.5	32	54.2	1	0.11	1.69
	計	1,873	123	6.6	68	55.3	3	0.16	2.44
計	2.0km以内直接被爆群	636	40	6.3	25	62.5	1	0.16	2.50
	2.1km以上直接被爆群	1,148	93	8.1	59	63.4	3	0.26	3.23
	入市・他群	1,667	128	7.7	78	60.9	6	0.36	4.69
	計	3,451	261	7.6	162	62.1	10	0.29	3.83

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数 × 100

<sup>4</sup> 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(キ) 被爆者がん検診別に見たがん発見率

被爆者の5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率を表12に示す。子宮がんは0.00%であったが、胃がん(胃部X線検査)は0.23%、胃がん(胃内視鏡検査)は1.06%、肺がんは0.23%、大腸がんは0.29%、乳がんは0.53%である。

表12 被爆者 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		がん症例	
				(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>		発見率(%) <sup>3</sup>
男性	胃がん(胃部X線検査)	276	36	13.0	36	100.0	1	0.36
	胃がん(内視鏡検査)	285	43	15.1	43	100.0	4	1.40
	肺がん	2,460	128	5.2	110	85.9	9	0.37
	大腸がん	1,578	138	8.7	94	68.1	7	0.44
女性	胃がん(胃部X線検査)	155	12	7.7	11	91.7	0	0.00
	胃がん(内視鏡検査)	186	22	11.8	22	100.0	1	0.54
	肺がん	2,729	105	3.8	99	94.3	3	0.11
	大腸がん	1,873	123	6.6	68	55.3	3	0.16
	乳がん	943	19	2.0	19	100.0	5	0.53
	子宮がん	654	0	0.0	0	0.0	0	0.00
計	胃がん(胃部X線検査)	431	48	11.1	47	97.9	1	0.23
	胃がん(内視鏡検査)	471	65	13.8	65	100.0	5	1.06
	肺がん	5,189	233	4.5	209	89.7	12	0.23
	大腸がん	3,451	261	7.6	162	62.1	10	0.29
	乳がん	943	19	2.0	19	100.0	5	0.53
	子宮がん	654	0	0.0	0	0.0	0	0.00

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

(ク) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要員のひとつである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成7年4月より実施されている。

令和3年度の受診者数は表13aに示すとおり、男性1,222人、女性1,142人、計2,364人である。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性44.4%、女性78.1%、計60.7%である。女性が男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表13bに示す。

表13 被爆者 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位:人)

性	受診者数	測定結果					
		減少なし	減少あり			計	(%) <sup>1</sup>
			軽度	中等度	高度		
男性	1,222	680	345	159	38	542	44.4
女性	1,142	250	395	352	145	892	78.1
計	2,364	930	740	511	183	1,434	60.7

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり			計	(%) <sup>1</sup>
				軽度	中等度	高度		
男性	2.0km以内直接被爆群	284	149	81	43	11	135	47.5
	2.1km以上直接被爆群	493	292	136	51	14	201	40.8
	入市・他群	445	239	128	65	13	206	46.3
	計	1,222	680	345	159	38	542	44.4
女性	2.0km以内直接被爆群	270	81	82	75	32	189	70.0
	2.1km以上直接被爆群	430	92	163	120	55	338	78.6
	入市・他群	442	77	150	157	58	365	82.6
	計	1,142	250	395	352	145	892	78.1
計	2.0km以内直接被爆群	554	230	163	118	43	324	58.5
	2.1km以上直接被爆群	923	384	299	171	69	539	58.4
	入市・他群	887	316	278	222	71	571	64.4
	計	2,364	930	740	511	183	1,434	60.7

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

オ 原爆被爆二世健康診断の実施

原爆被爆二世の健康面での不安を除く等のために、昭和48年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和54年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成13年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。また、平成2年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

なお、平成28年度からは多発性骨髄腫検査も実施している。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆二世健康診断の実施状況は表14のとおりである。

表 14 原爆被爆二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検受診率	年 度	一般検査	精密検査	精検受診率
昭和 48	578	580	100.3	10	2,786	2,796	100.4
49	109	110	100.9	11	3,201	3,202	100.0
50	82	83	101.2	12	3,711	3,711	100.0
51	51	51	100.0	13	3,762	3,762	100.0
52	131	129	98.5	14	2,919	2,919	100.0
53	124	126	101.6	15	3,150	3,150	100.0
54	1,942	1,768	91.0	16	2,483	2,483	100.0
55	1,041	626	60.1	17	2,678	2,678	100.0
56	854	494	57.8	18	2,497	2,497	100.0
57	995	572	57.5	19	2,477	2,477	100.0
58	1,152	663	57.6	20	2,428	2,428	100.0
59	1,551	853	55.0	21	2,565	2,565	100.0
60	1,798	1,072	59.6	22	2,486	2,486	100.0
61	1,967	1,155	58.7	23	2,344	2,344	100.0
62	2,250	1,314	58.4	24	2,525	2,525	100.0
63	2,780	1,551	55.8	25	2,432	2,432	100.0
平成元	2,417	1,161	48.0	26	2,489	2,489	100.0
2	2,078	1,127	54.2	27	2,452	2,452	100.0
3	2,132	1,219	57.2	28	2,487	2,487	100.0
4	2,309	1,520	65.8	29	2,362	2,362	100.0
5	2,508	1,610	64.2	30	2,285	2,285	100.0
6	2,297	1,698	73.9	令和元	2,149	2,149	100.0
7	2,391	1,936	81.0	2	1,881	1,881	100.0
8	2,475	2,138	86.4	3	2,042	2,042	100.0
9	2,867	2,309	80.5	4	2,390	2,390	100.0

## カ 健康管理の推進

### (7) 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

### (イ) 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア、認知症等の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行った。

## キ 健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化等に対応するため、次のとおり機器を更新・整備した。

また、令和4年4月から新たな健診システムを稼働させた。

- ① X線骨密度測定装置 整備
- ② 超音波画像診断装置 整備

## ク 被爆者健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ、心電図所見等)を分類整理し保存するとともに、これら健康診断の実績、結果等について諸統計を作成し、調査研究資料として整備した。

#### ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県・広島市が国からの受託事業として実施する黒い雨体験者に対する医師・臨床心理士・保健師による相談・支援事業について、医師等の派遣調整、相談会の日程調整及び会場の確保、会議録の作成、本人情報や相談記録等のデータベース化などの業務を実施した。

## (2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等

### ア 健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者医療確保法に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

検診項目	施設検診	集 団 検 診			
		中区・東区・南区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老健法基本健康診査	元.9～20.3	2.4～20.3		10.4～20.3*	10.4～20.3*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～	27.4～△	20.5～*	20.5～*
胃がん検診	元.9～	2.4～	4.4～	5.4～	
肺がん検診		8.4～			
乳がん検診□		2.4～	4.4～	5.4～	
子宮頸がん検診					
大腸がん検診	4.11～	4.11～	27.4～△	10.4～*	10.4～*◇
結核健診	元.9～	2.4～			
骨粗鬆症検診	7.10～	30.5～☆			
マンモグラフィ検診	9.4～17.3◎				
C型・B型肝炎ウイルス検査	10.10～	10.10～	31.4～	10.10～*	10.10～*◇

「元.9～」等は、検診開始年月

\* 日曜検診及び平成28年～5大がん検診会場（安佐医師会館、安佐公民館を除く）

◇ 白木町は平成2年4月から13年3月まで実施

△ 5大がん検診会場の一部で実施→令和元年度から全会場で実施

◎ 平成17年度から乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目

□ 平成30年度から視触診廃止

☆ 平成30年度から令和元年度までは5大がん検診会場のみ実施

表2 健診種別及び検査項目（令和4年度）

種 別	対 象 者（*）	検 査 項 目
特定健康診査	40歳以上75歳未満[年度内に40歳になる39歳の方は受診可]	必須検査：身体測定・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・診察 詳細項目：心電図・眼底検査・腎機能検査・貧血検査 追加検査：尿酸検査・腎機能検査・貧血検査 (広島市のみ)
健康診査	医療保険未加入者	上記年齢者の医療保険未加入者
	後期高齢者医療被保険者	75歳以上の方
がん検診	胃がん検診	X線検査については年度内に40歳以上の年齢に達する方 内視鏡検査については年度内に50歳以上の年齢に達する方、2年に1回
	肺がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方
	乳がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する女性、2年に1回
	子宮頸がん検診	20歳以上の女性、2年に1回
	大腸がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方
結核健康診断	65歳以上の方[年度内に65歳になる64歳の方は受診可]	胸部X線撮影
骨粗鬆症検診	女性：20歳から5歳間隔の年齢の方 男性：40歳から5歳間隔の年齢の方	骨塩定量検査(超音波方式)
C型・B型肝炎ウイルス検査	各種健診等により肝炎ウイルス検査を受けたことのない、又は、受ける予定のない20歳以上の方	HCV抗体検査 HBs抗原検査

(\*)がん検診、結核健康診断及び骨粗鬆症検診は広島市在住者のみ

表3 実施状況

(単位:件)

年度	基本健康診査		がん検診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検診	マンモグラフィ検診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん <sup>※3</sup>	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	-	374	-	-	-
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	-	22,683	-	-	-
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	-	22,433	-	-	-
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	-	-	-
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	-	-	-
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	-	-	-
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	-	-
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	-	-
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	-
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査 <sup>※1</sup> 特定保健指導		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	特定健診	保健指導 <sup>※4</sup>									
	13,840	12									
21	17,141	50	17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22	14,201	63	17,153	18,905	10,027	9,793	10,087	11,387	2,072		107
23	14,597	70	16,477	19,080	10,636	10,025	14,325	11,174	2,147		111
24	16,285	47	17,033	20,276	10,604	9,724	15,461	12,114	3,090		411
25	18,034	82	16,240	20,499	10,758	9,714	14,230	12,736	2,857		11,885 <sup>※2</sup>
26	19,140	59	15,887	23,965	8,816	7,073	18,822	14,117	3,346		9,974
27	19,240	516	15,830	23,409	9,698	7,475	19,695	13,924	3,009		9,705
28	19,404	566	14,614	22,768	8,646	6,846	18,223	14,061	2,792		7,037
29	19,891	691	15,386(2,837)	23,312	8,392	6,879	17,911	15,156	3,301		7,580
30	20,919	783	13,906(2,360)	24,009	7,917	6,399	18,502	16,071	3,973		6,623
令和元	20,193	635	12,794(2,607)	22,790	8,208	6,627	17,849	15,260	3,455		4,547
◎ 2	15,926	529	10,350(2,138)	18,745	5,861	4,788	15,224	12,437	3,639		2,767
◎ 3	16,207	510	10,795(2,807)	18,562	6,665	5,411	15,604	12,234	3,706		2,624
4	18,219	725	11,096(2,882)	20,132	7,072	5,694	16,645	13,270	4,177		3,255

※1 特定健康診査は、被用者保険加入者の健康診査・医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。(令和2年度までは被爆者特定健診も含む)

※2 C型・B型肝炎ウイルス検査は、平成25年度から緊急肝炎ウイルス検査事業(無料)による件数である。

※3 胃がん検診は、平成29年度から、胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。( )内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

※4 特定保健指導の平成20年度は積極的支援のみ、平成21年度からは動機づけ及び積極的支援の件数である。平成27年度より当日支援を開始したため、受診者が増加している。

◎ 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ集団健診を中止した期間があるため、受診者数等が減少している。

## イ 令和4年度健康診査実施状況

令和4年度の健康診査等の受診者数は、表4 aに示すとおり、男性7,409人、女性10,810人、計18,219人であった。年齢別にみると、男女とも70歳代が多かった。区別の受診者数では、西区が16.0%と最も多く、次いで南区が15.3%、中区が14.5%、安佐南区が12.9%であった(表4 b)。

表 4 健康診査等

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
39～49	665	9.0	1,413	7.8	2,078	11.4
50～59	687	9.6	1,399	12.9	2,086	11.4
60～69	1,599	21.6	2,745	25.4	4,344	23.8
70～79	3,507	47.3	4,250	39.3	7,757	42.6
80以上	951	12.8	1,003	9.3	1,954	11.3
計	7,409	100.0	10,810	100.0	18,219	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
中 区	1,040	14.0	1,599	14.8	2,639	14.5
東 区	907	12.6	1,177	10.9	2,084	11.4
南 区	1,129	15.2	1,662	15.4	2,791	15.3
西 区	1,193	16.1	1,718	15.9	2,911	16.0
安佐南区	897	12.1	1,446	13.4	2,343	12.9
安佐北区	790	10.7	1,101	10.2	1,891	10.4
安 芸 区	560	7.6	753	7.0	1,313	7.2
佐 伯 区	889	12.0	1,341	12.4	2,230	12.2
市外	4	0.1	13	0.1	17	0.1
計	7,409	100.0	10,810	100.0	18,219	100.0

ウ 令和3年度がん検診等実施状況

(7) 胃がん検診

胃部X線検査による胃がん検診の受診者数は表5 aに示すとおり、男性3,374人、女性4,614人、計7,988人である。要精検率は男性7.5%、女性3.8%、計5.4%、精検受診率はそれぞれ81.0%、91.4%、85.3%である。要精検率は男性が女性に比しやや高率である。(全体で見ると、高齢になるほど高率となる。)

精検結果は表5 bに示すとおり、胃部X線検査後の内視鏡検査では、有所見率は男性92.68%、女性90.00%、計91.51%であり、男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、胃潰瘍が11.23%と最も多く、次いで胃ポリープ10.14%、非上皮性腫瘍4.93%、胃癌3.01%である。

胃内視鏡検査による胃がん検診の受診者数は表5 aに示すとおり、男性1,370人、女性1,437人、計2,807人である。精検結果は表5 bに示すとおり、有所見率は男性87.45%、女性81.42%、計84.36%である。主な所見の内訳は、非上皮性腫瘍4.52%、胃潰瘍3.21%、胃ポリープ1.92%、胃癌0.57%である。

令和3年度新たに発見された胃癌症例は表5 cに示すとおりである。胃部X線検査では、胃癌症例は男性5例、女性6例、計11例である。胃癌発見率は男性0.15% 女性0.13%、計0.14%、陽性反応的中度はそれぞれ1.98%、3.43%、2.57%である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性11例、女性5例、計16例である。胃癌発見率は男性0.80%、女性0.35%、計0.57%である。

厚生労働省の令和2年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の胃癌発見率0.12%、陽性反応的中度1.91%に比し胃癌発見率は約1.2倍、陽性反応的中度は約1.3倍と高率で、本協議会の胃がん検診の精度は良好と考える。

表5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

胃部X線検査

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>					
39~49	551	16	2.9	12	75.0	1,313	22	1.7	20	90.9	1,864	38	2.0	32	84.2
50~59	425	18	4.2	11	61.1	777	23	3.0	21	91.3	1,202	41	3.4	32	78.0
60~69	855	60	7.0	48	80.0	1,140	54	4.7	47	87.0	1,995	114	5.7	95	83.3
70~79	1,313	134	10.2	114	85.1	1,215	62	5.1	58	93.5	2,528	196	7.8	172	87.8
80以上	230	25	10.9	20	80.0	169	14	8.3	14	100.0	399	39	9.8	34	87.2
計	3,374	253	7.5	205	81.0	4,614	175	3.8	160	91.4	7,988	428	5.4	365	85.3

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

胃内視鏡検査

受診者数

単位(人)

年齢 (歳)	男 性		計
	男 性	女 性	
49~59	121	258	379
60~69	410	459	869
70~79	687	606	1,293
80以上	152	114	266
計	1,370	1,437	2,807

b 精検結果

胃部X線検査

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		(%) <sup>1</sup>	
		(%) <sup>1</sup>																	
男 性	39~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	8.33	1	8.33	8	85.72	2	16.67	10	83.33
	50~59	0	0.00	2	18.18	0	0.00	0	0.00	2	18.18	1	9.09	6	54.55	0	0.00	11	100.00
	60~69	2	4.17	2	4.17	0	0.00	0	0.00	11	22.92	12	16.27	19	39.58	2	4.17	46	95.83
	70~79	3	2.63	4	3.51	3	2.63	3	2.63	6	5.26	17	14.91	70	61.40	7	6.14	106	92.98
	80以上	0	0.00	2	10.00	0	0.00	0	0.00	2	10.00	0	0.00	13	76.66	3	15.00	17	85.00
	計	5	2.44	10	4.88	3	1.46	3	1.46	22	10.73	31	15.12	116	56.59	15	7.32	190	92.68
女 性	39~49	0	0.00	1	5.00	0	0.00	1	5.00	1	5.00	1	5.00	9	45.00	7	35.00	13	65.00
	50~59	0	0.00	1	4.76	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	4.76	14	66.67	5	23.81	16	76.19
	60~69	2	4.26	2	4.26	0	0.00	0	0.00	5	10.64	2	4.26	35	74.47	1	2.13	46	97.87
	70~79	3	5.17	3	5.17	0	0.00	0	0.00	8	13.79	5	8.62	36	60.46	3	5.17	55	94.83
	80以上	1	7.14	1	7.14	0	0.00	0	0.00	1	7.14	1	7.14	10	71.43	0	0.00	14	100.00
	計	6	3.75	8	5.00	0	0.00	1	0.63	15	9.38	10	6.25	104	65.00	16	10.00	144	90.00
計	39~49	0	0.00	1	3.13	0	0.00	1	3.13	2	6.25	2	6.25	17	60.46	9	28.13	23	71.88
	50~59	0	0.00	3	9.38	0	0.00	0	0.00	2	6.25	2	11.77	20	61.77	5	15.63	27	84.38
	60~69	4	4.21	4	4.21	0	0.00	0	0.00	16	16.84	14	14.74	54	61.16	3	3.16	92	96.84
	70~79	6	5.89	7	4.07	3	1.74	3	1.74	14	8.14	22	12.79	106	61.63	10	5.81	161	93.60
	80以上	1	2.94	3	8.82	0	0.00	0	0.00	3	8.82	1	2.94	23	80.48	3	8.82	31	91.18
	計	11	3.01	18	4.93	3	0.82	4	0.70	37	10.14	41	11.23	220	60.27	31	8.49	334	91.51

<sup>1</sup> 有所見率: 所見例数/精検受診者数 × 100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		有所見例数 (%) <sup>1</sup>	
		(%) <sup>1</sup>																	
男性	49～59	0	0.00	2	3.52	1	0.83	0	0.00	1	0.83	1	0.83	87	71.90	29	23.97	92	76.03
	60～69	1	0.24	15	3.66	0	0.00	0	0.00	10	2.44	23	5.61	292	73.43	69	16.83	341	83.17
	70～79	8	1.16	33	4.80	1	0.19	3	0.44	14	2.04	36	5.24	525	76.42	67	9.75	620	90.25
	80以上	2	1.32	8	2.72	0	0.00	1	0.66	8	5.26	5	3.29	121	79.61	7	4.61	145	95.39
	計	11	0.80	58	3.55	2	0.15	4	0.29	33	2.41	65	4.74	1,025	74.82	172	12.55	1,198	87.45
女性	49～59	0	0.00	11	4.26	0	0.00	0	0.00	3	0.52	0	0.00	159	61.63	85	32.95	173	67.05
	60～69	1	0.22	21	4.58	0	0.00	0	0.00	3	0.65	7	1.53	341	74.29	86	18.74	373	81.26
	70～79	4	0.66	29	4.79	0	0.00	2	0.33	9	1.49	16	2.64	463	76.40	83	13.70	523	86.30
	80以上	0	0.00	8	7.02	0	0.00	0	0.00	6	5.26	2	1.75	85	74.56	13	11.40	101	88.60
	計	5	0.35	69	4.80	0	0.00	2	0.14	21	1.60	25	1.74	1,048	72.93	267	18.58	1,170	81.42
計	49～59	0	0.00	13	3.43	1	0.26	0	0.00	4	1.06	1	0.26	246	64.91	114	30.08	265	69.92
	60～69	2	0.23	36	4.14	0	0.00	0	0.00	13	1.50	30	3.45	633	71.95	155	17.84	714	82.16
	70～79	12	0.93	62	4.80	1	0.08	5	0.39	23	1.78	52	4.25	988	76.41	150	11.60	1,143	88.40
	80以上	2	0.75	16	6.02	0	0.00	1	0.38	14	2.83	7	2.63	206	77.44	20	7.52	246	92.48
	計	16	0.57	127	4.52	2	0.07	6	0.21	54	1.92	90	3.21	2,073	73.85	439	15.64	2,368	84.36

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た胃癌発見率

胃部×線検査

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症例		
				(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>	
男性	施設検診	2,421	150	6.2	121	80.7	3	0.12	2.00
	集団検診	953	103	10.8	84	81.6	2	0.21	1.94
	計	3,374	253	7.5	205	81.0	5	0.15	1.98
女性	施設検診	2,771	86	3.1	78	90.7	2	0.07	2.33
	集団検診	1,843	89	4.8	82	92.1	4	0.22	4.49
	計	4,614	175	3.8	160	91.4	6	0.13	3.43
計	施設検診	5,192	236	4.5	199	84.3	5	0.10	2.12
	集団検診	2,796	192	6.9	166	86.5	6	0.21	3.13
	計	7,988	428	5.4	365	85.3	11	0.14	2.57
令和2年度全国		1,913,941	122,353	6.39	-	81.2	2,331	0.12	1.91

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	胃癌症例	
				発見率(%) <sup>1</sup>
男性	施設検診	1,370	11	0.80
女性	施設検診	1,437	5	0.35
計		2,807	16	0.57

<sup>1</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

(1) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すとおり、男性 7,578 人、女性 10,984 人、計 18,562 人である。要精検率は男性 3.1%、女性 2.6%、計 2.8%、精検受診率はそれぞれ 90.2%、96.1%、93.4%である。

精検結果は表 6 b に示すとおり、有所見率は男性 69.34%、女性 78.23%、計 74.33%である。主な所見の内訳は、肺線維症 6.63%、肺癌 5.48%、非結核性抗酸菌症 4.55%、肺炎 2.48%、縦隔腫瘍 0.83%である。

令和 3 年度新たに発見された肺癌症例は表 6 c に示すとおり、男性 9 例、女性 12 例、計

21例である。肺癌発見率は男性0.12%、女性0.11%、計0.11%で、陽性反応的中度はそれぞれ3.83%、4.26%、4.06%である。

厚生労働省の令和2年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の肺癌発見率0.06%、陽性反応的中度2.64%に比し肺癌発見率で約1.8倍、陽性反応的中度で約1.5倍高率で、本協議会の肺がん検診の精度は良好と考える。

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>					
39~49	717	17	2.4	14	82.4	1,817	22	1.2	21	95.5	2,534	39	1.5	35	89.7
50~59	730	18	2.5	11	61.1	1,498	23	1.5	21	91.3	2,228	41	1.8	32	78.0
60~69	1,742	43	2.5	40	93.0	2,712	61	2.2	59	96.7	4,454	104	2.3	99	95.2
70~79	3,470	112	3.2	104	92.9	4,025	123	3.1	120	97.6	7,495	235	3.1	224	95.3
80以上	919	45	4.9	43	95.6	932	53	5.7	50	94.3	1,851	98	5.3	93	94.9
計	7,578	235	3.1	212	90.2	10,984	282	2.6	271	96.1	18,562	517	2.8	483	93.4

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見															有所見例数		
		肺 癌		縦隔腫瘍		活動性肺結核		非結核性抗酸菌症		肺 炎		肺線維症		その他		正常		(%) <sup>1</sup>	
		(%) <sup>1</sup>																	
男性	39~49	0	0.00	1	7.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	7	50.00	6	42.86	8	57.14
	50~59	1	9.09	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	9.09	0	0.00	8	72.73	1	9.09	10	90.91
	60~69	1	2.50	0	1.93	0	0.00	1	2.50	0	0.00	2	5.00	19	47.50	17	42.50	23	57.50
	70~79	6	5.77	0	0.00	0	0.00	4	3.85	3	2.88	14	13.46	52	50.00	25	24.04	79	75.96
	80以上	1	1.51	0	1.51	0	0.00	0	0.00	2	4.65	7	16.28	17	39.53	16	37.21	27	62.79
計	9	4.25	1	0.47	0	0.00	5	2.36	6	2.83	23	10.85	103	48.58	65	30.66	147	69.34	
女性	40~49	1	4.76	1	4.76	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	7	27.77	12	57.14	9	42.86
	50~59	1	4.76	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	16	76.19	4	19.05	17	80.95
	60~69	3	5.08	1	1.69	0	0.00	6	10.17	1	1.69	1	1.69	35	59.32	12	20.34	47	79.66
	70~79	6	5.00	1	0.83	0	0.00	8	6.67	4	3.33	5	4.17	73	60.83	23	19.17	97	80.83
	80以上	1	2.00	0	0.00	0	0.00	3	6.00	1	2.00	3	6.00	34	68.00	8	16.00	42	84.00
計	12	4.43	3	1.11	0	0.00	17	6.27	6	2.21	9	3.32	165	60.89	59	21.77	212	78.23	
計	39~49	1	2.86	2	5.71	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	14	33.34	18	51.43	17	48.57
	50~59	2	6.25	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.13	0	0.00	24	75.00	5	15.63	27	84.38
	60~69	4	4.04	1	0.89	0	0.00	7	7.07	1	2.66	3	3.03	54	54.55	29	29.29	70	70.71
	70~79	12	5.36	1	0.73	0	0.00	12	5.36	7	2.20	19	8.48	125	55.80	48	21.43	176	78.57
	80以上	2	2.15	0	0.00	0	0.00	3	3.23	3	3.23	10	10.75	51	54.84	24	25.81	69	74.19
計	21	5.48	4	0.83	0	0.00	22	4.55	12	2.48	32	6.63	268	55.49	124	25.67	359	74.33	

<sup>1</sup> 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率 (単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺 癌 症 例		
			(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応的中度(%) <sup>4</sup>			
							(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	
男性	施設検診	5,742	181	3.2	164	90.6	7	0.12	3.87
	集団検診	1,836	54	2.9	48	88.9	2	0.11	3.70
	計	7,578	235	3.1	212	90.2	9	0.12	3.83
女性	施設検診	7,455	190	2.5	183	96.3	11	0.15	5.79
	集団検診	3,529	92	2.6	88	95.7	1	0.03	1.09
	計	10,984	282	2.6	271	96.1	12	0.11	4.26
計	施設検診	13,197	371	2.8	347	93.5	18	0.14	4.85
	集団検診	5,365	146	2.7	136	93.2	3	0.06	2.05
	計	18,562	517	2.8	483	93.4	21	0.11	4.06
令和2年度全国		6,604,476	137,861	2.08	-	82.7	3,642	0.06	2.64

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の対象者は40才以上で、2年に1回受診することができる。乳がん検診の受診者数は表7 aに示すとおり、6,665人である。要精検率は4.0%、精検受診率は98.5%である。

精検結果は表7 bに示すとおり、有所見率は73.00%で、主な所見の内訳は、良性腫瘍14.83%、乳癌11.47%である。

令和3年度新たに発見された乳癌症例は表7 cに示すとおり、41例である。乳癌発見率は0.62%、陽性反応的中度は15.36%である。

厚生労働省の令和2年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の乳癌発見率0.34%、陽性反応的中度5.84%に比し乳癌発見率で約1.8倍、陽性反応的中度で約2.6倍高率で、本協議会の乳がん検診の精度は良好と考える。

表7 乳がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>	
39～49	1,426	84	5.9	82	97.6
50～59	1,009	38	3.8	37	97.4
60～69	1,562	54	3.5	53	98.1
70～79	2,224	80	3.6	80	100.0
80以上	444	11	2.5	11	100.0
計	6,665	267	4.0	263	98.5

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精 検 所 見																		有所見例数 (%) <sup>1</sup>	
	悪性腫瘍										良性疾患				所見なし (%) <sup>1</sup>	正常 (%) <sup>1</sup>				
	乳癌				その他		良性腫瘍		その他の良性疾患											
	(%) <sup>1</sup>	早期 (%) <sup>1</sup>	進行期 (%) <sup>1</sup>	病期不明 (%) <sup>1</sup>	(%) <sup>1</sup>															
39～49	7	8.54	5	6.10	2	2.44	0	0.00	0	0.00	17	20.73	42	51.22	0	0.00	16	19.51	66	80.49
50～59	7	18.92	6	16.22	1	2.70	0	0.00	0	0.00	9	24.32	16	56.24	0	0.00	5	13.51	32	86.49
60～69	7	13.21	6	11.32	0	0.00	1	1.89	0	0.00	3	5.66	13	24.53	0	0.00	30	56.60	23	43.40
70～79	16	20.00	12	15.00	3	3.75	1	1.25	0	0.00	9	11.25	36	30.13	1	1.25	18	22.50	62	77.50
80以上	4	36.36	3	27.27	1	9.09	0	0.00	0	0.00	1	9.09	4	36.36	0	0.00	2	18.18	9	81.82
計	41	11.47	32	7.12	7	2.66	2	0.76	0	0.00	39	14.83	111	42.21	1	0.38	71	27.00	192	73.00

<sup>1</sup> 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳 癌 症 例		
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応的中度(%) <sup>4</sup>	
施 設 検 診	4,156	151	3.6	150	99.3	28	0.67	18.54
集 団 検 診	2,509	116	4.6	113	97.4	13	0.52	11.21
計	6,665	267	4.0	263	98.5	41	0.62	15.36
令和2年度全国	2,565,850	150,236	5.86	-	90.1	8,774	0.34	5.84

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(I) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の対象者は20歳以上で、2年に1回受診することができる。子宮頸がん検診の受診者数は表8 aに示すとおり、5,411人である。要精検率は0.9%、精検受診率は100.0%である。

精検結果は表8 bに示すとおり、有所見率は86.96%である。主な所見の内訳は、CIN1が21.74%、CIN2とCIN3が13.04%、HSIL 4.35%、子宮頸癌とその他悪性疾患が2.17%である。

令和3年度新たに発見された子宮頸癌症例は表8 cに示すとおり、1例である。子宮頸癌発見率0.02%、陽性反応的中度は2.17%である。

厚生労働省の令和2年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の子宮頸癌発見率0.03%、陽性反応的中度1.17%に比し子宮頸癌発見率はほぼ同等であるが、陽性反応的中度は約1.9倍高率である。

表8 子宮頸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
			(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>
20~29	93	2	2.2	2	100.0
30~39	138	5	3.6	5	100.0
40~49	892	14	1.6	14	100.0
50~59	821	9	1.1	9	100.0
60~69	1,352	3	0.2	3	100.0
70~79	1,778	11	0.6	11	100.0
80以上	337	2	0.6	2	100.0
計	5,411	46	0.9	46	100.0

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見例数								
	子宮頸癌		その他の悪性疾患		AIS		CIN3		CIN2		HSIL			CIN1		その他		正常		
	(%) <sup>1</sup>																			
21~29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	50.00	0	0.00	0	0.00	1	50.00	0	0.00	2	100.00
30~39	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	20.00	1	20.00	0	0.00	1	20.00	2	40.00	0	0.00	5	100.00
40~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4	28.57	0	0.00	0	0.00	5	35.71	2	14.29	3	21.43	11	78.57
50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	11.11	2	22.22	1	11.11	0	0.00	3	33.34	2	22.22	7	77.78
60~69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	100.00	0	0.00	3	100.00
70~79	1	9.09	1	9.09	0	0.00	0	0.00	2	18.18	1	9.09	3	27.27	2	42.85	1	9.09	10	90.91
80以上	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	50.00	1	50.00	0	0.00	2	100.00
計	1	2.17	1	2.17	0	0.00	6	13.04	6	13.04	2	4.35	10	21.74	14	30.43	6	13.04	40	86.96

<sup>1</sup> 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮頸癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		子 宮 頸 癌 症 例		
			(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応的中度(%) <sup>4</sup>	
施 設 検 診	3,305	28	0.8	28	100.0	1	0.03	3.57
集 団 検 診	2,106	18	0.9	18	100.0	0	0.00	0.00
計	5,411	46	0.9	46	100.0	1	0.02	2.17
令和2年度全国	3,779,508	83,327	2.20	-	76.6	982	0.03	1.17

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 9 a に示すとおり、男性 6,323 人、女性 9,281 人、計 15,604 人である。要精検率は男性 12.1%、女性 9.2%、計 10.4%、精検受診率はそれぞれ 81.0%、83.3%、82.2%である。

精検結果は表 9 b に示すとおり、有所見率は男性 79.25%、女性 67.79%、計 73.12%である。主な所見の内訳は、腺腫 35.92%、非腫瘍性ポリープ 11.94%、大腸憩室 10.24%、大腸癌 2.94%である。

令和 3 年度新たに発見された大腸癌症例は表 9 c に示すとおり、男性 21 例、女性 18 例、計 39 例である。大腸癌発見率は男性 0.33%、女性 0.19%、計 0.25%であり、陽性反応的中度はそれぞれ 2.76%、2.11%、2.41%である。

厚生労働省の令和 2 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の大腸癌発見率 0.24%、陽性反応的中度 3.04%に比し大腸がん発見率はほぼ同等であるが、陽性反応的中度はやや低率となっている。

表 9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>	(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		(%) <sup>1</sup>	(%) <sup>2</sup>		
39~49	581	43	7.4	29	67.4	1,567	111	7.1	91	82.0	2,148	154	7.2	120	77.9
50~59	602	55	9.1	45	81.8	1,386	112	8.1	95	84.8	1,988	167	8.4	140	83.8
60~69	1,551	181	11.7	147	81.2	2,412	212	8.8	176	83.0	3,963	393	9.9	323	82.2
70~79	2,876	360	12.5	297	82.5	3,218	315	9.8	265	84.1	6,094	675	11.1	562	83.3
80以上	713	123	17.3	99	80.5	698	104	14.9	84	80.8	1,411	227	16.1	183	80.6
計	6,323	762	12.1	617	81.0	9,281	854	9.2	711	83.3	15,604	1,616	10.4	1,328	82.2

<sup>1</sup> 要精検率:要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		大腸癌		大腸癌以外の悪性腫瘍		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正 常		(%) <sup>1</sup>	
		(%) <sup>1</sup>																	
男 性	40~49	0	0.00	0	0.00	10	34.48	1	3.45	0	0.00	0	0.00	5	9.53	13	44.83	16	55.17
	50~59	1	2.22	0	0.00	20	44.44	7	15.56	1	2.22	4	8.89	2	4.44	10	22.22	35	77.78
	60~69	9	6.12	2	1.36	61	41.50	18	12.24	2	1.36	17	11.56	10	6.80	28	19.05	119	80.95
	70~79	7	2.36	4	1.35	127	42.76	39	13.13	0	0.00	40	8.95	24	8.08	56	18.86	241	81.14
	80以上	4	4.04	0	0.00	43	43.43	17	17.17	0	0.00	6	6.06	8	9.34	21	21.21	78	78.79
計	21	4.31	6	0.97	261	42.30	82	13.29	3	0.49	67	10.86	49	7.94	128	20.75	489	79.25	
女 性	40~49	1	1.10	0	0.00	16	17.58	4	4.40	1	1.10	3	3.30	25	27.47	41	45.05	50	54.95
	50~59	1	1.05	0	0.00	34	35.79	8	8.42	0	0.00	4	4.21	13	13.68	35	36.84	60	63.16
	60~69	4	2.27	0	0.00	48	27.27	17	9.66	0	0.00	16	10.35	21	11.93	70	39.77	106	60.23
	70~79	10	3.84	0	0.00	93	35.09	34	12.83	0	0.00	31	11.70	31	11.70	66	24.91	199	75.09
	80以上	2	2.38	0	0.00	25	29.76	14	16.67	0	0.00	15	17.86	11	13.10	17	20.24	67	79.76
計	18	3.00	0	0.00	216	30.38	77	10.83	1	0.14	69	9.70	101	14.21	229	32.21	482	67.79	
計	40~49	1	0.83	0	0.00	26	21.67	5	4.17	1	0.83	3	2.50	30	16.19	54	45.00	66	55.00
	50~59	2	1.43	0	0.00	54	38.57	15	10.15	1	0.71	8	5.71	15	10.71	45	32.14	95	67.86
	60~69	13	4.02	2	0.62	109	33.75	35	10.84	2	0.62	33	10.22	31	9.60	98	30.34	225	69.66
	70~79	17	3.02	4	0.71	220	38.17	73	12.99	0	0.00	71	12.63	55	9.79	122	21.71	440	78.29
	80以上	6	3.28	0	0.00	68	37.16	31	16.94	0	0.00	21	14.59	19	10.38	38	20.77	145	79.23
計	39	2.94	6	0.45	477	35.92	159	11.94	4	0.30	136	10.24	150	10.37	357	26.88	971	73.12	

<sup>1</sup> 有所見率:所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大腸癌症例		
				(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	陽性反応の中度(%) <sup>4</sup>	
男性	施設検診	4,960	566	11.4	461	81.4	15	0.30	2.65
	集団検診	1,363	196	14.4	156	79.6	6	0.44	3.06
	計	6,323	762	12.1	617	81.0	21	0.33	2.76
女性	施設検診	6,519	587	9.0	502	85.5	10	0.15	1.70
	集団検診	2,762	267	9.7	209	78.3	8	0.29	3.00
	計	9,281	854	9.2	711	83.3	18	0.19	2.11
計	施設検診	11,479	1,153	10.0	963	83.5	25	0.22	2.17
	集団検診	4,125	463	11.2	365	78.8	14	0.34	3.02
	計	15,604	1,616	10.4	1,328	82.2	39	0.25	2.41
令和2年度全国		7,310,094	564,514	7.72	-	68.6	17,209	0.24	3.04

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例/受診者数×100

<sup>4</sup> 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数×100

(カ) がん検診別に見たがん発見率

5 大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率・陽性反応の中度を表 10 に示す。胃がん(胃部X線検査)・胃がん(胃内視鏡検査)・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの発見率はそれぞれ 0.14%、0.57%、0.11%、0.25%、0.62%、0.02%である。

表 10 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		がん症例	
				(%) <sup>1</sup>		(%) <sup>2</sup>	発見率(%) <sup>3</sup>	
男性	胃がん(胃部X線検査)	3,374	253	7.5	205	81.0	5	0.15
	胃がん(内視鏡検査)	1,370					11	0.80
	肺がん	7,578	235	3.1	212	90.2	9	0.12
	大腸がん	6,323	762	12.1	617	81.0	21	0.33
女性	胃がん(胃部X線検査)	4,614	175	3.8	160	91.4	6	0.13
	胃がん(内視鏡検査)	1,437					5	0.35
	肺がん	10,984	282	2.6	271	96.1	12	0.11
	大腸がん	9,281	854	9.2	711	83.3	18	0.19
	乳がん	6,665	267	4.0	263	98.5	41	0.62
	子宮頸がん	5,411	46	0.9	46	100.0	1	0.02
計	胃がん(胃部X線検査)	7,988	428	5.4	365	85.3	11	0.14
	胃がん(内視鏡検査)	2,807					16	0.57
	肺がん	18,562	517	2.8	483	93.4	21	0.11
	大腸がん	15,604	1,616	10.4	1,328	82.2	39	0.25
	乳がん	6,665	267	4.0	263	98.5	41	0.62
	子宮頸がん	5,411	46	0.9	46	100.0	1	0.02

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

(キ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市独自の施策として平成7年10月より開始された(平成16年4月からの検診対象者は、男性では40歳以上、女性では20歳以上の5歳刻み)。

令和3年度の受診者数は表11に示すとおりで、男性1,302人、女性2,404人、計3,706人である。

骨量の「異常あり」と判定された有所見率は、男性38.8%、女性60.3%、全体で52.8%である。

表11 骨粗鬆症検診 (単位:人)

性	年齢(歳)	受診者数	測定結果				計	計 (%) <sup>1</sup>
			異常なし	要指導	要精検査			
男性	40・45	66	42	22	2	24	36.4	
	50・55	94	56	26	12	38	40.4	
	60・65	220	140	64	16	80	36.4	
	70・75	655	420	188	47	235	35.9	
	80・85・90・95	267	139	84	44	128	47.9	
	計	1,302	797	384	121	505	38.8	
女性	25・30・35・40・45	288	233	51	4	55	19.1	
	50・55	320	235	74	11	85	26.6	
	60・65	508	182	228	98	326	64.2	
	70・75	991	250	481	260	741	74.8	
	80・85・90・95	297	54	126	117	243	81.8	
	計	2,404	954	960	490	1,450	60.3	
計	25・30・35・40・45	354	275	73	6	79	22.3	
	50・55	414	291	100	23	123	29.7	
	60・65	728	322	292	114	406	55.8	
	70・75	1,646	670	669	307	976	59.3	
	80・85・90・95	564	193	210	161	371	65.8	
	計	3,706	1,751	1,344	611	1,955	52.8	

<sup>1</sup> 有所見率: 「要指導」「要精検査」例数/受診者数×100

(注)平成27年度より、測定結果を「減少なし・軽度・中等度・高度」から変更

(ク) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

令和3年度の受診者数は表12aに示すとおり、男性5,554人、女性6,680人、計12,234人であり、年齢別では男性、女性とも70歳代が多い。区別の受診者数は表12bに示すとおり、安佐北区が最も多く、次いで南区、安佐南区、西区の順である。要精検率は表12cのとおり、男性3.4%、女性3.2%、計3.3%である。

表12 結核健診

a 受診者数 (単位:人)

年齢(歳)	男		女		計	
	性	(%)	性	(%)	性	(%)
64~69	1,163	20.9	1,722	25.8	2,885	23.7
70~79	3,471	62.5	4,026	60.3	7,497	61.3
80以上	920	16.6	932	14.0	1,852	15.1
計	5,554	100.0	6,680	100.0	12,234	100.0

## b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
中 区	676	10.9	854	12.8	1,530	12.5
東 区	680	12.2	804	12.0	1,484	12.1
南 区	772	13.9	976	14.6	1,748	14.3
西 区	753	13.6	885	13.2	1,638	13.4
安 佐 南 区	794	14.3	925	13.6	1,719	14.1
安 佐 北 区	837	15.1	998	14.9	1,835	15.0
安 芸 区	416	7.5	481	7.2	897	7.3
佐 伯 区	626	11.3	757	11.3	1,383	11.3
計	5,554	100.0	6,680	100.0	12,234	100.0

## c 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			(%) <sup>1</sup>			(%) <sup>1</sup>			(%) <sup>1</sup>
64～69	1,163	30	2.6	1,722	39	2.3	2,885	69	2.4
70～79	3,471	112	3.2	4,026	123	3.1	7,497	235	3.1
80以上	920	45	4.9	932	53	5.7	1,852	98	5.3
計	5,554	187	3.4	6,680	215	3.2	12,234	402	3.3

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

## エ 健康管理資料の整備

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を整理、保管した。

(3) 本協議会で発見した悪性新生物症例

本協議会ではがん検診の一次検診だけでなく、消化管内視鏡・超音波・CT・MRI等の検査機器を使用しがん検診の精密検査医療機関としても機能しており、人間ドック受診者や他施設のがん検診受診者の中で要精検となった方々の精密検査も行っている。また健診で自覚症状より精密検査を行い発見しえた癌症例もある。それらの症例を表13本協議会で発見した悪性新生物症例として示す。

表13 本協議会で発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病名
1	43	F	原 発 性 肺 癌
2	54	F	原 発 性 肺 癌
3	64	F	原 発 性 肺 癌
4	67	F	原 発 性 肺 癌
5	67	F	原 発 性 肺 癌
6	70	F	原 発 性 肺 癌
7	73	F	原 発 性 肺 癌
8	76	F	原 発 性 肺 癌
9	76	F	原 発 性 肺 癌
10	76	F	原 発 性 肺 癌
11	78	F	原 発 性 肺 癌
12	84	F	原 発 性 肺 癌
*13	85	F	原 発 性 肺 癌
*14	87	F	原 発 性 肺 癌
*15	87	F	原 発 性 肺 癌
16	53	M	原 発 性 肺 癌
17	60	M	原 発 性 肺 癌
18	64	M	原 発 性 肺 癌
19	71	M	原 発 性 肺 癌
20	73	M	原 発 性 肺 癌
21	73	M	原 発 性 肺 癌
22	74	M	原 発 性 肺 癌
*23	75	M	原 発 性 肺 癌
*24	76	M	原 発 性 肺 癌
*25	77	M	原 発 性 肺 癌
*26	78	M	原 発 性 肺 癌
27	78	M	原 発 性 肺 癌
*28	79	M	原 発 性 肺 癌
*29	79	M	原 発 性 肺 癌
30	79	M	原 発 性 肺 癌
31	80	M	原 発 性 肺 癌
*32	81	M	原 発 性 肺 癌
*33	83	M	原 発 性 肺 癌
*34	88	M	原 発 性 肺 癌
35	44	M	転 移 性 肺 癌
36	50	M	転 移 性 肺 癌
37	65	F	早 期 胃 癌
38	62	F	早 期 胃 癌
39	67	F	早 期 胃 癌
40	70	F	早 期 胃 癌
41	72	F	早 期 胃 癌
42	75	F	早 期 胃 癌
43	76	F	早 期 胃 癌
*44	77	F	早 期 胃 癌
45	78	F	早 期 胃 癌
46	79	F	早 期 胃 癌
47	81	F	早 期 胃 癌
48	62	M	早 期 胃 癌
49	69	M	早 期 胃 癌
50	70	M	早 期 胃 癌
51	70	M	早 期 胃 癌
52	70	M	早 期 胃 癌
53	73	M	早 期 胃 癌
*54	76	M	早 期 胃 癌
*55	76	M	早 期 胃 癌
56	76	M	早 期 胃 癌
57	77	M	早 期 胃 癌
*58	79	M	早 期 胃 癌
59	79	M	早 期 胃 癌
60	80	M	早 期 胃 癌
*61	82	M	早 期 胃 癌
62	83	M	早 期 胃 癌
63	85	M	早 期 胃 癌
*64	96	M	早 期 胃 癌
65	63	F	進 行 胃 癌
66	60	F	進 行 胃 癌
67	72	F	進 行 胃 癌
68	61	M	進 行 胃 癌
69	67	M	進 行 胃 癌
70	72	M	進 行 胃 癌
71	75	M	進 行 胃 癌
72	79	M	進 行 胃 癌
73	74	M	胃 癌 深 達 度 不 明
74	78	M	胃 M A L T
75	72	M	早 期 食 道 癌
76	77	M	早 期 食 道 癌
77	54	M	早 期 結 腸 癌
*78	81	F	早 期 結 腸 癌
79	40	F	早 期 結 腸 癌
80	59	F	早 期 結 腸 癌
81	60	F	早 期 結 腸 癌
82	68	F	早 期 結 腸 癌
83	69	F	早 期 結 腸 癌
84	71	F	早 期 結 腸 癌
85	73	F	早 期 結 腸 癌
86	76	F	早 期 結 腸 癌
87	77	F	早 期 結 腸 癌
88	78	F	早 期 結 腸 癌
89	85	F	早 期 結 腸 癌
90	50	M	早 期 結 腸 癌
91	65	M	早 期 結 腸 癌
92	67	M	早 期 結 腸 癌
93	68	M	早 期 結 腸 癌
94	69	M	早 期 結 腸 癌
95	69	M	早 期 結 腸 癌
96	72	M	早 期 結 腸 癌
97	76	M	早 期 結 腸 癌
98	76	M	早 期 結 腸 癌
99	79	M	早 期 結 腸 癌
100	79	M	早 期 結 腸 癌
101	80	M	早 期 結 腸 癌
102	82	M	早 期 結 腸 癌
103	85	M	早 期 結 腸 癌
*104	83	M	進 行 結 腸 癌
105	65	F	進 行 結 腸 癌
106	74	F	進 行 結 腸 癌
107	74	F	進 行 結 腸 癌
108	75	F	進 行 結 腸 癌
*109	76	F	進 行 結 腸 癌
110	78	F	進 行 結 腸 癌
*111	83	F	進 行 結 腸 癌
112	63	M	進 行 結 腸 癌
113	68	M	進 行 結 腸 癌
*114	75	M	進 行 結 腸 癌
*115	77	M	進 行 結 腸 癌
116	80	M	進 行 結 腸 癌
*117	81	M	進 行 結 腸 癌
118	55	M	直 腸 癌

No.	年齢	性別	病名
119	53	M	直腸癌
120	68	M	直腸癌
121	82	F	早期直腸癌
122	60	M	早期直腸癌
123	63	M	早期直腸癌
124	75	M	早期直腸癌
*125	76	M	進行直腸癌
*126	86	M	早期直腸癌
*127	86	M	早期直腸癌
128	71	F	進行直腸癌
129	76	M	進行直腸癌
*130	82	M	多発性骨髄腫
*131	77	F	多発性骨髄腫
*132	86	F	多発性骨髄腫
*133	85	M	多発性骨髄腫
*134	87	M	多発性骨髄腫
*135	93	M	多発性骨髄腫
*136	76	F	早期乳癌
*137	78	F	早期乳癌
*138	79	F	早期乳癌
139	78	F	早期乳癌
140	74	F	早期乳癌
141	81	F	早期乳癌
142	59	F	早期乳癌
143	74	F	早期乳癌
144	50	F	早期乳癌
145	76	F	早期乳癌
146	68	F	早期乳癌
147	60	F	早期乳癌
148	43	F	早期乳癌
149	70	F	早期乳癌
150	71	F	早期乳癌
151	81	F	早期乳癌
152	67	F	早期乳癌
153	45	F	早期乳癌
154	57	F	早期乳癌
155	40	F	早期乳癌
156	53	F	早期乳癌
157	61	F	早期乳癌
158	72	F	早期乳癌
159	73	F	早期乳癌
160	59	F	早期乳癌

No.	年齢	性別	病名
161	42	F	早期乳癌
162	71	F	早期乳癌
163	70	F	早期乳癌
164	61	F	早期乳癌
165	80	F	早期乳癌
166	41	F	早期乳癌
167	59	F	早期乳癌
168	59	F	早期乳癌
169	81	F	早期乳癌
170	77	F	早期乳癌
171	80	F	早期乳癌
172	72	F	早期乳癌
173	57	F	早期乳癌
174	64	F	早期乳癌
175	64	F	早期乳癌
176	61	F	早期乳癌
177	56	F	早期乳癌
178	84	F	早期乳癌
179	43	F	早期乳癌
180	73	F	進行乳癌
181	41	F	進行乳癌
182	86	F	進行乳癌
183	46	F	進行乳癌
184	71	F	進行乳癌
185	60	F	進行乳癌
186	43	F	進行乳癌
187	80	F	進行乳癌
188	84	F	進行乳癌
*189	76	F	乳癌
*190	76	F	乳癌
191	59	F	乳癌
192	53	F	乳癌
193	57	F	乳部悪性腫瘍
194	78	F	乳部悪性腫瘍
195	73	F	乳部悪性腫瘍
196	74	F	乳部悪性腫瘍
197	41	F	乳部悪性腫瘍
198	60	M	前立腺癌
199	70	F	甲状腺癌
200	40	F	胆嚢癌
201	54	F	甲状腺癌
202	59	M	大腸癌肝転移

\*付きの番号の症例は被爆者

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

### (1) 調査研究の継続実施

被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、平成 29 年以前に実施したものに加えて、平成 30 年度に新たに着手した次の 5 項目の研究を引き続き行い、その成果は関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表した。

- ・加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ・健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ・高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ・中高年者における非空腹時脂質値に関する横断ならびに後向きコホート調査

### (2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。

### (3) 原子爆弾後障害研究会の開催

令和 4 年 6 月 5 日(日)、「第 62 回原子爆弾後障害研究会」が長崎市で Web 開催され、広島市側の窓口として支援した。

### 3 被爆者の援護福祉事業

#### (1) 被爆者相談

昭和 36 年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和 42 年 7 月専任相談員を配置し、昭和 53 年 11 月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

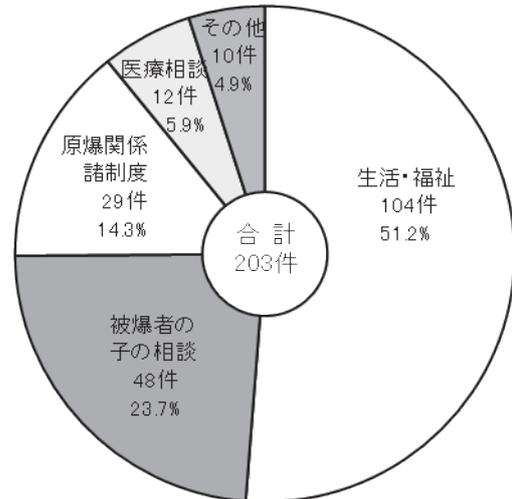
開設以来の相談件数及び令和 4 年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年度	件数(件)	年度	件数(件)
昭和 36	51	平成元	4,530
37	29	2	4,074
38	19	3	4,183
39	30	4	3,525
40	46	5	3,451
41	68	6	3,482
42	240	7	3,512
43	334	8	3,576
44	465	9	3,393
45	626	10	3,758
46	910	11	2,911
47	626	12	3,414
48	507	13	2,817
49	568	14	2,572
50	871	15	2,522
51	1,241	16	2,455
52	1,746	17	2,084
53	2,566	18	576
54	3,174	19	625
55	2,319	20	566
56	3,676	21	601
57	3,057	22	503
58	2,852	23	414
59	2,660	24	394
60	3,283	25	371
61	3,086	26	323
62	3,454	27	337
63	5,333	28	301

年度	件数(件)
29	288
30	263
令和元	233
2	194
3	207
4	203

令和 4 年度の被爆者相談の状況



※平成 18 年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

#### (2) 被爆者の援護措置

本協議会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本協議会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金：被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額 10,000 円を支給する。
- イ 被爆身障者等見舞金：夏季と年末の年 2 回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- ウ 福祉用具貸与・購入費補助：住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

エ その他の補助：以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

令和4年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

令和4年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
被爆身体障害者等見舞金	16	140,000
福祉用具貸与・購入費補助	296	2,826,000
合 計	312	2,966,000

## 4 広島市健康づくりセンターの管理運営事業

令和4年4月から5年間引き続き広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営と健康教育事業及び子育て支援事業を行った。

### (1) 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子どもから高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

### ア 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子どもから大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

(7) 年間利用者数 21,042人

令和4年度健康科学館利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	919	1,126	1,431	1,974	3,368	2,175	1,575	1,935	1,378	1,579	1,864	1,718	21,042
大人 (人)	553	676	809	988	1,408	971	843	974	787	835	1,008	910	10,762
小人 (人)	114	143	127	376	947	581	261	342	107	225	225	213	3,661
幼児 (人)	252	307	495	610	1,013	623	471	619	484	519	631	595	6,619
利用者数													
トータルヘルシアター (人)	132	200	156	165	3	218	148	183	209	152	195	187	1,948
上映回数 (回)	100	92	104	64	4	92	100	96	106	88	88	104	1,038
研修会議室 (人)	138	220	234	156	302	680	254	397	424	279	234	248	3,566
視察・見学 (回)									2				2
主催事業 (回)	4	7	7	5	15	10	7	6	10	8	5	6	90
共催事業 (回)													0
ビデオ上映 (回)		1	4			12		6	5	1	2	2	33
健康ライブラリー (人)				24	222	90	76	84	64	60	80	112	812
つどいの広場 (人)	336	369	606	604	611	564	552	540	534	504	681	640	6,541
大人 (人)	188	196	315	309	301	295	277	274	271	261	354	327	3,368
幼児 (人)	148	173	291	295	310	269	275	266	263	243	327	313	3,173

(イ) 企画展の開催 年 4 回

令和 4 年度企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数 (日)	観覧者数(人)			
			大人	小人	幼児	合計
小さいけれども働きもの！血液	令和4年3月12日～令和4年7月10日	99	2,804	573	1,510	4,887
からだ大冒険 知恵と体力でなぞを解け	令和4年7月23日～11月6日	87	3,968	2,110	2,578	8,656
イキイキ脳でスッキリするのうー今こそ脳活を始めよう	令和4年11月12日～令和5年3月5日	87	3,329	799	2,028	6,156
骨コツボーン！鍛えてマッスル！！	令和5年3月11日～令和5年7月9日	17	715	182	402	1,299
合 計		290	10,816	3,664	6,518	20,998

(ウ) パネル展 年 12 回

イ 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

ウ 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント 年 58 回 参加者 641 人
- ・他の関係機関との共催による研修会 年 1 回 参加者 25 人

エ ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成講座（6 課程） 年 1 回
- ・ボランティアの育成講座 年 7 回
- ・ボランティアの活動事業 年 401 回

オ 広報活動（TV・ラジオ・情報誌取材等） 開催数 93 回

カ 展示物・資料等貸出 2 回

(2) 子育て支援事業

ア ファミリー・サポート・センターの運営

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

(7) 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 3,090 人（提供会員：319 人 依頼会員：2,734 人 両方会員：37 人）

【令和 5 年 3 月 31 日現在】

(イ) 援助活動の調整

マッチング件数 441 件

(ウ) 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及）（年 1 回 9 月）

(エ) 会員同士の交流会 0 回

(オ) 会員講習会 3 回

(カ) 機関誌の発行 1 回

## イ つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子どもが気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

### (7) 常設のつどいの場の提供

#### (イ) 子育てに関する相談援助

#### (ロ) 子育て関連情報の提供

#### (ハ) 子育て等に関する講習会の開催 年 40 回

#### (ニ) 利用者数 6,541 人（大人 3,368 人 幼児 3,173 人）

## ウ パパとママの育児教室の運営

夫婦が協力して子育てを行うために、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図った。

プレパパママ育児スクール 年 34 回、参加者 1,322 人

## 5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業

(1) 被爆者や市民の健康診断の結果、悪性疾患等が疑われた場合には、確定診断や病期判定のために詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進めた。

また、広島市医師会からの依頼による生体検査（CT・MRI・内視鏡検査・X線撮影等）を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進した。

(2) 事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等の健診を実施した。健診結果に基づいて生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるように健診活動を行った。

＜実施件数＞	人間ドック健診	1,835 件
	生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,339 件
	事業所健診	3,591 件
	ストレスチェック	808 件

## 6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

### (1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと、平成 3 年 4 月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（令和 4 年度は、5 回にわたり 15 名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

### (2) 来日原爆被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被曝者への援助を引き続き行った。

## 7 将来構想検討委員会の設置・運営

令和5年1月の創立70周年に向け、今後の本協議会の在り方について検討するために設置された「将来構想検討委員会」の河野修興委員長より、本協議会の松村誠会長に対し、令和4年12月22日に答申書が提出された。

## 8 公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会の開催

令和5年3月29日（水）、広島国際会議場において記念講演会を開催した。

- ・ 講演

「広島原爆障害対策協議会70年の歩み」

前田 亮 広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター所長

- ・ 記念講演

「被爆者の現状と今後のケア」－医療・介護の課題－

鎌田 七男 広島大学名誉教授

## 9 令和4年研究業績

### (1) 学会発表

日本放射線技術学会 2022 年度中国・四国支部第 23 回夏季学術大会 (7 月 2 日, 広島市)

- ・品川祐樹: 消化管検査・血管造影での新型コロナへの対応について

### (2) 講演会等

KYORIN IBD Web セミナー (1 月 17 日、Web 配信)

- ・上野義隆: 潰瘍性大腸炎における 5-ASA 製剤不耐の臨床

UC カンファレンス (1 月 27 日、Web 配信)

- ・上野義隆: 5-ASA 製剤に関する最近の hot topics

健康科学館での講座の実施 (3 月 12 日、広島市)

- ・芳上将: ふれあい遊びでパパも体力アップ!

IBD Small Meeting in Hiroshima (3 月 24 日、呉市、Hybrid 開催)

- ・上野義隆: コロナ禍における IBD 診療

第 14 回 消化器リサーチセミナー 教育講演 (4 月 19 日、広島市、Hybrid 開催)

- ・上野義隆: クロウン病における抗インテグリン療法

第 252 回 広島第一内科同門会・開業医部会 学術講演会 (5 月 17 日、広島市)

- ・上野義隆: 変わる便秘診療

UC カンファレンス (6 月 9 日、Web 配信)

- ・上野義隆: コロナ禍における IBD 診療

IBD Expert Meeting in 下関 特別講演 (8 月 4 日、下関市、Hybrid 開催)

- ・上野義隆: 難治性潰瘍性大腸炎の病態と治療に関する最近の知見

第 40 回 広島早期大腸癌研究会 (9 月 15 日、広島市、Hybrid 開催)

- ・上野義隆: 炎症性腸疾患における鉄欠乏性貧血のマネジメント

潰瘍性大腸炎 Web 講演会 in 中四国 (10 月 6 日、Web 配信)

- ・上野義隆: 非難治例における潰瘍性大腸炎治療薬の基本と実践

第 89 回 安佐消化器病フォーラム (10 月 25 日、Web 配信)

- ・上野義隆: 治療薬の作用機序から見えてきた潰瘍性大腸炎の病態

健康科学館でのヘルスサポーター養成講座の実施 (11 月 18 日、広島市)

- ・小島純: 生活習慣病予防「生活習慣とがん」

### (3) 論文

- ・Sasaki N, Maeda R, Ozono R, Nakano Y, Higashi Y. Association of obesity with serum free fatty acid levels in individuals at different stages of prediabetes. *Clin Obes.* 2022;12:e12496. doi: 10.1111/cob.12496.
- ・Sasaki N, Maeda R, Ozono R, Nakano Y, Higashi Y. Association of flow parameters and diameter in the common carotid artery with impaired glucose metabolism. *J Atheroscler Thromb.* 2022;29:654-666.
- ・Sasaki N, Maeda R, Ozono R, Yoshimura K, Nakano Y, Higashi Y. Adipose tissue insulin resistance predicts the incidence of hypertension: The Hiroshima Study on Glucose Metabolism and Cardiovascular Diseases. *Hypertens Res.* 2022;45:1763-1771. doi: 10.1038/s41440-022-00987-0.

- Sasaki N, Maeda R, Ozono R, Yoshimura K, Nakano Y, Higashi Y. Early-phase changes in serum free fatty acid levels after glucose intake are associated with type 2 diabetes incidence: The Hiroshima Study on Glucose Metabolism and Cardiovascular Diseases. *Diabetes Care*. 2022;45:2309-2315. doi: 10.2337/dc21-2554.

## Ⅶ 資 料

### 1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）

広島市「原爆被爆者対策事業概要」より

（各年度末、単位：人）

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
昭和 32	74,610	32,342	106,952
33	79,400	36,531	115,931
34	82,476	38,611	121,087
35	82,831	43,713	126,544
36	87,752	48,716	136,468
37	92,796	51,153	143,949
38	93,608	51,014	144,622
39	93,393	53,113	146,506
40	92,911	57,204	150,115
41	95,627	64,768	160,395
42	94,975	71,574	166,549
43	92,921	75,987	168,908
44	91,389	77,442	168,831
45	90,336	81,233	171,569
46	92,090	80,881	172,971
47	108,764	66,812	175,576
48	108,690	66,624	175,314
49	114,411	62,874	177,285
50	114,542	65,219	179,761
51	113,384	66,253	179,637
52	112,738	66,699	179,437
53	111,811	67,228	179,039
54	110,717	67,799	178,516
55	109,612	68,356	177,968
56	108,870	68,211	177,081
57	108,208	68,208	176,416
58	107,093	67,550	174,643
59	113,885	59,322	173,207
60	112,871	58,856	171,727
61	111,433	58,121	169,554
62	110,392	57,580	167,972
63	109,118	57,046	166,164
平成元	107,459	56,250	163,709
2	105,599	55,579	161,178
3	103,818	54,889	158,707
4	101,939	53,958	155,897
5	100,188	52,851	153,039
6	98,473	51,844	150,317
7	96,929	50,766	147,695
8	95,260	49,630	144,890
9	93,637	48,577	142,214
10	91,940	47,173	139,113
11	90,184	45,451	135,635
12	88,592	44,367	132,959
13	86,779	43,246	130,025
14	85,065	41,995	127,060
15	83,732	40,739	124,471
16	81,649	39,427	121,076
17	80,509	37,381	117,890
18	78,111	35,987	114,098
19	75,642	34,561	110,203
20	73,388	33,027	106,415
21	71,194	31,619	102,813
22	68,886	30,498	99,384
23	66,660	28,926	95,586
24	64,302	27,388	91,690

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
平成 25	61,666	25,954	87,620
26	58,933	24,434	83,367
27	56,174	22,818	78,992
28	53,340	21,286	74,626
29	50,384	19,836	70,220
30	47,632	18,393	66,025
令和元	44,836	16,959	61,795
2	42,191	15,616	57,807
3	39,590	14,375	53,965
4	39,374	14,086	53,460

## 2 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置(更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置(更新)	10,263,235	4,028,235
	合 計	1,521,002,235	713,339,235

### 3 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置配慮	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

### 4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

## 5 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	411,917,521	101,303,000

## 6 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	458,799,521	119,673,520

## 7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
23	765,000	0	765,000
24	785,000	0	785,000
25	810,000	0	810,000
26	835,000	0	835,000
27	850,000	0	850,000
28	800,000	0	800,000
29	752,200	50,000	802,200
30	700,000	0	700,000
令和元	620,000	0	620,000
2	655,000	0	655,000
3	630,000	0	630,000
4	600,000	0	600,000
合計	58,342,200	19,515,491	77,857,691

## 8 全国から寄せられた寄付金

(資料7再掲、敬称略)

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
昭和29	239,486円	39件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攬, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ビカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804円	38件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外 24名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍相起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819円	98件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨城県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年 D 組ひいらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684円	21件	大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316円	50件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
34	575,892 円	32 件	東町連合子供クラブ一同、川崎市東芝〇附工、段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三、野口あき、東京電気大学〇〇学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・〇川〇〇、屋代小・中学校・戸倉中学校、匿名、広島県〇〇〇・吉本勝・浜田カヨ子、山田千恵子、高橋昭博、杉渕徳治、山田千恵子、河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年〇組、〇尾富美子、浜田加代子、土肥邦雄、三村典子、松下和義
35	78,957 円	17 件	丸本杏男、山田千恵子、日本むつみ会、山田千恵子、奈良県一〇人、山田千恵子、吉岡隆夫、神戸市親和高校グループ、日本むつみ会老生、山田千恵子、金沢兼之助、東京福祉協会理事小祝昌弘、四人の女月光仮面、一読者、愛知トマト KK 他 7 社、日本むつみ会老生、(匿名)、大阪一女性、匿名者、田口正治、グレチエン・タットヒル、古賀和紀、グレチエン・タットヒル、金光教群馬県西部連合会、藤村弘、全日労組合広島地方会議組合員、篠村つる子、香川県千羽鶴運動実行委員会、イタリア生、(匿名)、浦辺和美外三名、徳竹道生外一名
36	1,935,402 円	30 件	広島予研支所匿名、広島予研支所匿名、アーサー・マリー・アイビンダー、赤松鉄也、赤松鉄也、匿名、篠村つる子、金子健次郎、大阪 K.E.氏、匿名、匿名、山田千恵子、山田千恵子、森新一、山田千恵子、原水爆禁止大川市協議会長古賀清治、広島県競輪選手会
37	140,129 円	19 件	紺野光吉、紺野光吉、日本原水爆被災者救援協会代表富井令子、石田久子、山田キク、関つる、山蔭貫之、関つる、紺野光吉、日本電装労働組合、ルイス・カヴレル、匿名、匿名 2 名、全大丸労働組合神戸支部、全国財務労働組合、紺野光吉、原田東岷、安佐郡長東地区婦人会長原田静枝、寺本典夫、佐藤富子、土井憲策、山崎君子、愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同、石川県立工業高等学校デザイン科有志、紺野光吉、原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング、紺野光吉、柿原幸二、小崎芳子、紺野光吉
38	210,638 円	23 件	紺野光吉・無名氏、三次中学校、三次町本通一子供会、紺野光吉・匿名、山田千恵子、小川亀三、日〇一社員外三氏匿名、紺野光吉・m.y.、清水芳郎、駒込学園一同、呉造船労組宮原地区家族会、日本司法書士会連合会総会出席者、東大教育学部高校一年 A 組、板木節夫、藤田正行、河原卓一、安永茂雄、日下部春一、岩滝宗雄
39	196,179 円	18 件	神戸市育英高等学校一年十組、中村勝弥、奥田光太郎、空調タイムス社代表取締役杉本英太郎、大歳盛明、志村寛一、ノートルダム清心高等学校三年生一同、山田千恵子、山田千恵子、徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫、般若太郎外七口、岡本稔雄・吉田町役場職員組合、村上春雄、ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団、日本高等学校教職員組合、中川シゲノ、山口親愛教会 S 氏、(匿名)、本間妙海、匿名、村上和輝、日赤東京都支部寄託、読売新聞社寄託
40	485,027 円	23 件	読売新聞社寄託 2 名、日赤東京都支部寄託、匿名、山田千恵子、中国新聞社会事業団寄託、政治経済研究会代表番匠朝昭、日本高等学校教職員組合代表磯本達則、中国新聞社会事業団寄託、土手和海外二名、原水爆禁止門〇市協議会会長東重太郎、金沢なでしこ会三人、金光教広島県連合会外二件、岐阜県立中津高等学校職員二学年一同、黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同、福島県石川実務学園長外三ヶ所、朝日新聞山口支局寄託、石川県立金沢高等学校二四ホーム一同、大〇七一
41	415,603 円	18 件	神戸新聞厚生事業団寄託、石川県金沢高等学校修学旅行団、パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻、中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同、〇生製作所労組、渋谷区代々木善明会教団、全国自動車産業労働組合連合会東海支部、山形県 16 歳学生、中島マチ、豊島区 S.K.、こばやし、塚本利光、大豊〇樹、尾川昭外七ヶ所、比和中学校福田部落会生徒、キリンビール労働組合広島工場支部長〇〇永〇〇、松岡洋子・岡本・玉置せき、東京電気大学高校普通科二年生一同、日本大学豊山学園友輪会、豊橋市時〇〇高校二年一組一同、豊川地方労働組合、〇田照夫、石本タケノ
42	503,278 円	21 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名、県内に住む一女性、三宅千代子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則、善明会教団東京支部、セント・ジェルジ博士、右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名、東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒〇〇〇キリスト〇〇、大阪市旅行クラブ「浪花会」、国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージャーランド委員会、吉田達雄、安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同、土井憲作、南千田ヘルスセンター、山本雅子、矢沢一民、旧普通科神〇高等学校一年三組
			川上ナルエ、堤健一郎、徳原スミ子、飯田商店外二者、杉山博康、小松修、神戸外大二部原水禁実行委員会一同、片山茂樹、法眼〇外五件、三次市栗原町婦人会外二件、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円、読売新聞社寄託、金洞海、山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同、奈良県青龍寺小西妙淳、全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合、フランス人シャンボイゼ、新田修三、関川守彦、下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
43	451,958 円	20 件	日本高等学校教職員組合、長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武、日本火薬福山工場ダンス同好会一同、本田英郎、日本高等学校教職員組合、大口あさを、金井政吉、姫路市匿名、舟入本町商店街、広島市の者、藤井音次郎、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓、沖一成、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合、東海大学原子力教室、ビクターオート(株)広島営業所、酒井幸四郎、藤井音次郎、藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、藤井音次郎、水木ナツ、藤井音次郎、小島静江、金井政吉、入田律子、舟入本通会、一老人、田中茂、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、桂雄一、徳山市蟻の会代表水木敏郎、鈴川寅二、ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩、鯉川クラブ、藤井音次郎、大園英彦、藤井音次郎、小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎、友広和夫、一匿名者、一匿名者、金井政吉、匿名の一少女、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、藤井音次郎、神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志、堀内登久子、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、匿名者、湧井雅晴、小西清、高田和典、法政大学女子高校 1 年 F 組、岩室久一、横光利之、苫小牧西高等学校新聞局、明大附属中野中学校 2 年生、藤井音次郎、一市民、狩野重治、藤井音次郎、岡野チヨノ、八木千代、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎、藤井音次郎、金井政吉、広島市無名氏、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、柴崎英治、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、三重県立紀南高等学校修学旅行団一同、藤井音次郎、今田稔穂、広島木工製材機械協会、森崎律子、藤井音次郎、広島市匿名氏、安佐ボール社長武智義則、広島市無名氏、藤井音次郎、藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子、藤井音次郎、松川宣正、松川宣正、広島市 Y 子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店長小野敏次、広島市無名氏、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、新谷五郎、松坂次男、藤井音次郎、原田東岷、飯田昭二、藤井音次郎、エア・ポートレーン支配人登勝志、広島市民無名氏、福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴、岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良、藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一、藤井音次郎、大高美代、岡儀造、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次、原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平、藤井音次郎他、藤井音次郎、岡正造、藤井音次郎、甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹、藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ、足門ミドリ、日本高等学校教職員組合、広島市内原爆被爆者、原水爆禁止十日町市協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎、奥野ワカヨ、広島市原爆被爆者、市山律子、上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治、乙井ミツエ、愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典、広島市民被爆無名者、広島第一劇場代表取締役吉田尚行、広島木工製材機械協会会長金子堅一、西部浩子、日本高等学校教職員組合、関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫、榎倉利明、西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄、河野和夫、日本高等学校教職員組合、長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子、松上年雄、広島木工製材機械協会、東京の一学生、日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫、清水由紀子、高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作、浜井澄人、山口能弘、荒木邦男、山田春三、府中農協病院植田繁男、川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合、東洋工業 K.K. 監査部主管榎倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、森崎利樹、藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子、山口大学平和キャラバン隊、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信、山口大学ユネスコクラブ第 12 回平和キャラバン隊、花田実男、栃木県烏山女子高等学校三年一組一同、大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代、京極春子、山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬、日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会、大高美代、大熊開市、日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫、中野ツルエ、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大高美代、日本高等学校教職員組合、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合
23	765,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
24	785,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
25	810,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
26	835,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
27	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
28	800,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
29	802,200 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 広島市小児科医会長森美喜夫
30	700,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
令和元	620,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
2	655,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
3	630,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
4	600,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

## 9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機6台、ラジオ1台	292,000
46	カラーテレビ1台、長イス11脚	237,000
47	フィルム保管庫5台	125,000
49	フィルム格納庫9台	251,000
50	スロンブエラストグラフ1台、毛糸編機4台	1,750,000
52	顕微鏡1台、毛糸編機3台	442,000
53	胃カメラ1台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ1台	1,300,000
55	眼底カメラ1式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ1台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ1台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ1台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ1台	1,115,000
60	オートプロジェクター1台、内視鏡格納棚1台、吸引器1台	915,000
61	ガストロファイバースコープ1台	1,300,000
62	顕微鏡2台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡1台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡1組、パルスオキシメーター1台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシーン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ1台、ゼリーウォーマー1台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
24	多機能心電計	997,500
26	ホルター自動連続血圧計1式、電動昇降台2式、3クランクベッド プレグラースーパーマットレスベッドサイドレール1式	999,994
28	内視鏡洗浄消毒装置3台	1,499,040
30	全自動血圧計診之助Slim3台、ノンコンタクトタイプトノメーター1台	1,499,904
令和2	アトム診療ユニット EU-70α 湿式クスクウォーマー付/洗浄装置付1台、全自動身長体重計1台	1,499,300
4	内視鏡洗浄消毒装置3台	1,500,000
	合 計	39,759,169

※ ただし、平成6年度以降は、核兵器廃絶・平和建設広島県民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

## 10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品

(単位：円)

年度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
	合 計	7,518,231

## 11 職員

(令和5年7月1日現在)

課・科名	職名	氏名	
事務局		事務局長	長 敏伸
	総務課	課長	岡田 一彦
	経理課	課長	坪井 誠
	健康管理課	(兼)課長	坪井 誠
健康管理・ 増進センター		所長	上野 義隆
		部長	佐々木伸夫
	総合受付課	課長	本山かおり
	総合健診科	部長	小島 純
	精密健診科	部長	林 亮平
	放射線科	技師長	吉川 健
	ドック健診科	科長	平野 千尋
	検査科	技師長	毛利 周子
	看護科	看護師長	細木 由美
健康科学館		館長	前田 育子
	管理課	(事)課長	前田 育子
	教育課	課長	谷 敏既美

事業概要 令和5年（2023年）版

---

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番6号  
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)

FAX 082-241-0414

URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>

---

